

第 7 7 回
通常総会資料



2013年1月25日(金)

社団法人江津青年会議所

目次

第77回通常総会次第	P 1
2012年度を振り返って	P 2～3
組織	P 4
会議報告	P 5～7
理事会報告	P 7～10
委員会事業報告	P 11～22
褒賞	P 23
総会例会出欠一覧表	P 24
物品管理	P 25
2012年度収支計算書総括表（案）	P 26
2012年度一般会計収支計算書（案）	P 27～28
2012年度委員会事業収支計算書総括表（案）	P 29
2012年度積立預金特別会計収支計算書（案）	P 30
2012年度貸借対照総括表（案）	P 31
2012年度正味財産増減計算書（案）	P 32
2012年度財産目録総括表（案）	P 33
2012年度監査報告書	P 34
2013年度事業計画書	P 35
理事長所信	P 36～39
委員会構成並びに活動方針	P 40
委員会事業方針	P 41～46
組織	P 47
2013年度収支予算書総括表（案）	P 48
2013年度一般会計収支予算書（案）	P 49～50
2013年度委員会事業収支予算書総括表（案）	P 51
2013年度積立預金特別会計収支予算書（案）	P 52
2013年度公式スケジュール（案）	P 53

2013年度 社団法人 江津青年会議所

第77回 通常総会

日時： 2013年 1月25日 (金)

19:00～21:00

場所： パレス和光

司会： 総務情報委員会

式 次 第

1. 点鐘
2. 開会宣言
3. 国歌並びにJCソング斉唱
4. JCIクリード唱和
5. JCIミッション唱和
6. JC宣言朗読並びに綱領唱和
7. 2013年度 (社)江津青年会議所スローガン説明並びに唱和
8. 理事長挨拶
9. 報告事項 (事務局・委員会・出向)
10. 議長就任 (定款第29条)
11. 定足数の確認
12. 議事録作成人並びに署名人の指名
13. 議題
 - イ. 2012年度事業報告の承認に関する事項
 - ロ. 2012年度収支決算報告の承認に関する事項
 - ハ. 2012年度事業報告及び収支決算報告の監査に関する事項
 - ニ. 2013年度収支予算 (案) の承認に関する事項
 - ホ. 2013年度事業計画 (案) の承認に関する事項
 - ヘ. その他
14. 直前理事長バッジ交換
15. 会員慶弔
16. 新入会員紹介
17. 監事講評 監事 梅田 栄男君 三上 貴子君
18. 閉会宣言
19. 点鐘

2012年度を振り返って

社 団 法 人 江 津 青 年 会 議 所
2 0 1 2 年 度 理 事 長 宮 津 秀 行

社団法人江津青年会議所、2012年度第38代理事長を務めさせていただきました宮津秀行です。

多くの悲しみと甚大なる被害をもたらした東日本大震災の発災から1年と10ヶ月が経ちました。

震災復興元年と言われる年に、歴史のある（社）江津青年会議所の2012年度の運動をスタートするにあたり、スローガンを『不撓不屈～貫き通す意地と矜持をもって 陽をまた昇らせる～』とさせていただきました。

責任世代の我々青年に課せられた使命は、第4の国難と言われる時代に直面している状況下においても、メンバー一人ひとりが、身も心も挫ける事無く、この国と国民のことを思い、公の責任感と、日本人としての意地と矜持をもって未来を切り拓き、成長することであると決意し、一年間運動を展開して参りました。

難波和彦委員長率いる総務情報委員会は、この組織の要として各種会議の適切な設営と的確な情報発信や連絡調整を行っていただきました。第38回島根ブロック会員大会の主管をするにあたり、入会年度の浅いメンバーが増えた中での会議の設営となるため、和の礼節講座を例会の度に開催し、組織の品格の向上に努めていただきました。

山形瑞樹委員長率いる組織力強化委員会は、新入会員獲得10名という目標を掲げ、2年連続で10名を超える拡大活動が出来、明るいゆたかな江津の実現に向けての更なる一歩が踏み出せました。災害復興支援活動の傍ら、5月例会では、江津市役所防災担当者と日本JCシニアクラブメンバーであり、（株）東日本震災復興協会取締役の荒井大蔵氏を福島県相馬市よりお招きし、東日本大震災から学ぶこのまちにおける防災・減災について市民と共に学ばせていただきました。今例会を通じ、相馬市長や荒井先輩のご厚意により、震災直後からの議事録や多くの資料をご提供いただき、現在の江津市における防災・減災計画の策定に活用されており、青年会議所のネットワークをいかに活用して運動を展開していただきました。

漆谷久利委員長率いる石見神楽人育成委員会は、この地域を支える世界に誇れる伝統芸能『石見神楽』を継承するヒトづくりを中心に、行政や市内神楽社中関係者をはじめ、多くの方たちとの絆を通じて運動を展開していただきました。広島で早くから後継者育成に取り組んでいる東山神楽団の関係者を4月例会にお招きし、神楽団の後継者育成システムについて学ばせていただきました。カグラに憧れる仕組みづくりの一環である『かぐらっこ育成プロジェクト 夏神楽 in 江の川祭』を開催し、480名を超える来場者に、江津青年会議所が考える石見神楽を支えるヒトづくり運動を発信出来ました。また、市内の小学校で開催した出前授業の『カグラに憧れるシステム作り』は中国地区コンファレンスの褒章において当LOM始まって以来の最優秀グランプリを頂くことが出来ました。

森口善宣委員長率いるローカルファースト実践委員会は、江津市の有する誇れる宝を思う存分活用したまちづくり運動を展開していただきました。創立以来、初めて『食』をテーマにした例会を行い、メンバーだけでなく行政をはじめ多くの団体と密に連携を図り、江津青年会議所の運動を市内外に発信していただきました。7月29日に行われたかわくんだり事業においても、『江津の食』をうまく組み合わせ、過去最高の参加者のもと開催し、参加して頂いた方々に、改めてふるさと江津ならではの魅力を認識して頂いたと思います。

9月15日には、第38回島根ブロック協議会会員大会に合わせ、『江津食フェス2012～江津の食伝説～』を開催しました。市内の飲食店や団体と協力をして、このまちの食材を活用したメニューを開発し、県内各地会員会議所のメンバーをはじめ、多くの市民の方々に力強く『江津の食』と我々の運動を発信していただきました。

山藤志哲委員長率いる江の川祭実行委員会は、江津市最大の祭を盛大に盛り上げ、参加者にふるさとへの誇りや想いを更に強く抱いてもらうため、過去に囚われない、新たな試みに果敢にチャレンジして頂きました。江津駅前の空き地を初めて利用し、江津市音頭パレードはじめ、主管した全ての事業を駅前に集中させ、コンパクトに一体感のある祭の運営を行っていただき、多くの賑わいを創出できました。又、花火大会終了後には、東日本大震災の被災地への追悼と早期の復興を願い、復興パネル展示とキャンドルナイトを開催しました。参加された多くの市民の方と共に被災地に想いを馳せた事で、参加者にこの震災を決して風化させてはならないという意識を醸成できたと思います。

堀江毅議長率いる会員大会運営会議は、10年ぶりに（社）江津青年会議所が主管として9月15日に行われた、島根ブロック協議会最大の事業である第38回ブロック会員大会をメンバーの先頭に立ち取り仕切っていただきました。県内の全ての会員会議所に対し積極的にPRに出向いた事で、200名を超える多くのメンバーに参加して頂き、この江津から島根ブロック協議会の伊藤ブロック会長の掲げる理念と運動を県内外に力強く発信する事が出来ました。当日の記念講演は国家基本問題研究所の所長櫻井よし子氏を講師に迎え、700名近い満員の会場で、この国の喫緊の課題であるエネルギー問題をテーマに講演をして頂き、参加者に多くの問題提起と学びをいただき、盛会のうちに終わることが出来ました。又式典は厳粛に執り行い、懇親会においては各地会員会議所の卒業予定者に一堂に介して頂き、島根ブロック協議会始まって以来の大卒業式を開催し、青年会議所活動を全うした方々へ多くの感動と思い出を提供することが出来た、素晴らしい懇親会を設営して頂きました。これも日頃から、江津青年会議所メンバー一人一人が切磋琢磨し、意見を重ね血と汗と涙を流しながらも築き上げた団結力の賜物であると確信しています。

又、この国難の時代に生きる責任世代として、どんな困難や試練にも屈せず立ち向かい、未来を切り開くための『覚悟』と『力』を養うために、6年振りに偉大なる先人たちのご遺徳を偲ぶ地である鹿児島県にてLOM内研修を開催していただき、参加したメンバーへ改めて自らの住む地域や国を守る意味、そしてこの国に生まれた喜びを学ばせていただきました。

また、本年は当LOMより、伊藤誠二君を（公社）島根ブロック協議会第38代会長として輩出させて頂き、持ち前の類いまれなるリーダーシップを如何なく発揮し、島根ブロック協議会を牽引して頂きました。それに伴い運営団をはじめ多くのメンバーに出向して頂き、県内外の各地会員会議所との係わり合いも多い年になり、江津青年会議所メンバーも、多くの友情や学びや刺激を得た素晴らしい一年になったと思います。

2012年度、我々の前に幾多の困難が立ちはだかりましたが、メンバー一人ひとりが青年経済人としての意地と矜持をもち、英知と勇気と情熱を逆らせ、想いを共有して不撓不屈の精神で立ち向かっていただいたお陰で、このマチに多くの可能性を見出し、大きな陽を昇らせることが出来ました。

そして、叱咤激励と絶大なるご支援を賜りました多くの先輩諸兄の皆様、歯を食い縛って支えてくれた現役メンバー皆様、家庭を守り温かく見守って頂いたメンバーのご家族の皆様に心からの感謝を申し上げます。

一年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

組 織

1. 正会員

本年度当初会員 (2012年1月1日現在)	38名
新入会員 (2012年1月1日～12月31日まで)	12名
佐々木・本田・松田 (京)・小幡・柘植・前田・上野・梅野・濱田・平下・松田・安藤	
退会者 (2012年1月1日～12月31日まで: 転勤等含む)	7名
前川・志村・竹岡・佐々木・石井・濱田・梅野	

2. 休会会員

2012年12月31日現在 0名

3. 特別会員

2012年12月31日現在 81名

4. 賛助会員

2012年12月31日現在 0名

5. 役員

理事長	宮津 秀行
直前理事長	伊藤 誠二
副理事長	佐々木 一成、岡田 誠、山藤 志哲
専務理事	小川 知興
監事	横田 弘、永井 敏敬
理事	山形 瑞樹、難波 和彦、漆谷 久利 堀江 毅、森口 善宣

6. 出向

日本青年会議所	復興支援委員会	委員 横田 弘
日本青年会議所	日本のエネルギー選択委員会	委員 室谷 文統
中国地区協議会		副会長 伊藤 誠二
中国地区協議会		副会長補佐 和田 智之
中国地区協議会		副会長補佐 山本 育路
中国地区協議会	財政特別委員会	委員 岩本 淳
中国地区協議会	復興支援委員会	委員 永井 敏敬
中国地区協議会	復興支援委員会	委員 岡田 誠
島根ブロック協議会		会長 伊藤 誠二
島根ブロック協議会		運営専務 平下 智隆
島根ブロック協議会		事務局長 砂田 秀人
島根ブロック協議会		財政局長 岩本 淳
島根ブロック協議会		会長補佐 和田 智之
島根ブロック協議会		会長補佐 山本 育路
島根ブロック協議会	会員大会運営会議	議長 堀江 毅
島根ブロック協議会	会員大会運営会議	副議長 室谷 文統
島根ブロック協議会	総務広報 (兼) 災害支援委員会	副委員長 横田弘
島根ブロック協議会	凜然とした誇りある日本創造委員会	委員 押越 奈津紀
島根ブロック協議会	凜然とした JAYCEE 育成委員会	委員 横手慎一

会 議

1. 総 会

◆ 第75回通常総会

日 時：2012年1月27日（金） 19：00～20：50

場 所：パレス和光

出席者：39名中32名 委任状0通

- 議 題：イ. 2011年度事業報告の承認に関する事項
ロ. 2011年度収支決算報告書の承認に関する事項
ハ. 2011年度事業報告及び収支決算報告の監査に関する事項
ニ. 2012年度役員の承認に関する事項
ホ. 2012年度収支予算書（案）の承認に関する事項
ヘ. 2012年度事業計画（案）の承認に関する事項
ト. その他

◆ 第76回通常総会

日 時：2012年8月25日（土） 19：00～20：20

場 所：カフェ&バー路庵

出席者：45名中42名 委任状1通

- 議 題：イ. 2012年度収支決算中間報告（案）の承認に関する事項
ロ. 2012年度補正予算（案）の承認に関する事項
ハ. 2012年度収支決算中間報告（案）の監査に関する事項
ニ. 2013年度役員の承認に関する事項
ホ. その他

◆ 臨時総会

日 時：2012年7月18日（水） 22：15～22：30

場 所：江津商工会議所3F大会議室

出席者：40名37名 委任状0通

- 議 題：イ. 江の川祭実行委員会と石見神楽人育成委員会補正予算に関する事項
ロ. その他

◆ 臨時総会

日 時：2012年11月19日（月） 20：50～21：00

場 所：パレス和光

出席者：45名中43名 委任状0通

- 議 題：イ. 法人格移行申請に関する事項
ロ. その他

2. 例 会

◆ 2月例会

日 時：2012年2月20日（月） 19：00～21：35

場 所：パレス和光

出席者：39名中36名 92.3%

内 容：江津JCと江津市の未来のため

- ◆ 3月例会
日 時：2012年3月19日（月） 19：00～21：30
場 所：江津商工会議所3F大会議室
出席者：41名中37名 90.2%
内 容：江津市から始まる誇り復興への軌跡、そして食フェスへ

- ◆ 4月例会
日 時：2012年4月18日（水） 19：00～21：35
場 所：江津商工会議所3F大会議室
出席者：41名中37名 90.2%
内 容：「かぐらっこ育成プロジェクト」神楽に憧れるシステム作り

- ◆ 5月例会
日 時：2012年5月18日（金） 19：00～21：45
場 所：江津商工会議所3F大会議室
出席者：41名中36名 87.8%
内 容：江津市の防災と減災そして減災へ

- ◆ 6月例会
日 時：2012年6月18日（月） 19：00～21：30
場 所：江津商工会議所3F大会議室
出席者：40名中37名 92.5%
内 容：恵み豊かな江の川の魅力に迫る

- ◆ 7月例会
日 時：2012年7月18日（水） 19：00～22：15
場 所：江津商工会議所3F大会議室
出席者：40名中37名 92.5%
内 容：会員大会成功に向けて！

- ◆ 9月例会
日 時：2012年9月18日（火） 19：00～21：40
場 所：江津商工会議所3F大会議室
出席者：45名中38名 84.4%
内 容：継住開来～人を動かす為には、まず自分たちが変わる～

- ◆ 10月例会
日 時：2012年10月18日（木） 19：00～21：45
場 所：江津商工会議所3F大会議室
出席者：45名中41名 91.1%
内 容：実食！江津の食伝説～地域食材を利用した秋の試食交流会～

◆ 11月例会

日時：2012年11月19日(月) 19:00～20:50

場所：パレス和光

出席者：45名中43名 95.6%

内容：卒業生大いに語る

3. 理事会

【1月定例理事会】

日時場所：2012年1月24日(火)19:30～

江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|------|---------------------------|------|
| 審-1 | 2012年度理事長所信(案)に関する事項 | 【承認】 |
| 審-2 | 2012年度基本理念・基本方針(案)に関する事項 | 【承認】 |
| 審-3 | 2012年度委員会構成・活動方針(案)に関する事項 | 【承認】 |
| 審-4 | 2012年度組織図(案)に関する事項 | 【承認】 |
| 審-5 | 2012年度年間公式スケジュール(案)に関する事項 | 【承認】 |
| 審-6 | 2012年度外部団体加入担当者(案)に関する事項 | 【承認】 |
| 審-7 | 2012年度予算(案)に関する事項 | 【承認】 |
| | 2012年度委員会基本資料について | |
| 審-8 | 総務情報委員会 | 【承認】 |
| 審-9 | 組織力強化委員会 | 【承認】 |
| 審-10 | ローカルファースト実践委員会 | 【承認】 |
| 審-11 | 石見神楽人育成委員会 | 【承認】 |
| 審-12 | 江の川祭実行委員会 | 【承認】 |
| 審-13 | 会員大会運営会議 | 【承認】 |
| 審-14 | 第75回通常総会開催計画について | 【承認】 |
| 審-15 | 第75回通常総会懇親会について | 【承認】 |
| 審-16 | 会員拡大活動実施計画について | 【承認】 |
| 審-17 | 3分間スピーチ実施計画について | 【承認】 |
| 審-18 | スマイルボックス実施計画について | 【承認】 |
| 審-19 | 2月例会開催計画について | 【承認】 |
| 審-20 | 新入会員承認について | 【承認】 |

【2月定例理事会】

日時場所：2012年2月21日(火)19:30～

江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|-----|---------------------|------|
| 審-1 | 3月例会開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-2 | 対外広報誌発行計画(案)の承認について | 【承認】 |

【3月定例理事会】

日時場所：2012年3月21日(水)19:30～

江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|-----|----------------------|------|
| 審-1 | 第75回通常総会報告の承認について | 【承認】 |
| 審-2 | 第75回通常総会懇親会報告の承認について | 【承認】 |

- | | | |
|-----|-------------------|------|
| 審-3 | 異業種交流会開催計画の承認について | 【承認】 |
| 審-4 | 4月例会開催計画の承認について | 【承認】 |
| 審-5 | 新入会員(本田君)の承認について | 【承認】 |
| 審-6 | 新入会員(松田君)の承認について | 【承認】 |

【4月定例理事会】

日時場所：2012年4月24日(火)19:30～ 江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|------|-------------------------|------|
| 審-1 | 第75回通常総会報告(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-2 | 第75回通常総会懇親会報告(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-3 | 2月例会報告(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-4 | 5月例会開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 部審-5 | 食フェス事業募集要項(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-6 | 新入会員(小幡君・柘植君)の承認について | 【承認】 |
| 審-7 | 退会(前川君・志村君)の承認について | 【承認】 |

【5月定例理事会】

日時場所：2012年5月22日(火)19:30～ 江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|-----|----------------------|------|
| 審-1 | 6月例会開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-2 | 食フェス事業開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-3 | 出前授業開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-4 | 退会(竹岡君)の承認について | 【承認】 |

【6月定例理事会】

日時場所：2012年6月19日(火)19:30～ 江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|-----|------------------------------|------|
| 審-1 | 異業種交流会開催報告(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-2 | 3月例会開催報告(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-3 | かわくだり事業開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-4 | 4月例会開催報告(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-5 | 神楽事業開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-6 | 7月例会開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-7 | 江の川祭(キャンドルナイト)開催計画(案)の承認について | 【承認】 |

【臨時理事会】

日時場所：2012年7月3日(火)19:30～ 江津商工会議所2F研修室

審議事項：なし

【7月定例理事会】

日時場所：2012年7月24日(火)19:30～ 江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|-----|---------------------------|------|
| 審-1 | 第76回通常総会開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-2 | 第76回通常総会懇親会開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-3 | 5月例会開催報告(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-4 | 江の川祭(パレード)開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-5 | 新入会員(前田・上野・梅野君)入会の承認について | 【承認】 |

【8月定例理事会】

日時場所：2012年8月21日(火)19:30～ 江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|-----|--------------------|------|
| 審-1 | 5月例会開催報告(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-2 | 9月例会開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-3 | 新入会員(濱田君)入会の承認について | 【承認】 |
| 審-4 | 新入会員(平下君)入会の承認について | 【承認】 |

【9月定例理事会】

日時場所：2012年9月25日(火)19:30～ 江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|-----|------------------------|------|
| 審-1 | 新入会員セミナー開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-2 | 10月例会開催計画(案)の承認について | |
| 審-3 | 6月例会開催報告(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-4 | 7月例会開催報告(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-5 | 退会(石井君)の相談について | 【承認】 |
| | 退会(佐々木君)の相談について | 【承認】 |
| 審-6 | 休会(濱田君)の相談について | 【承認】 |

【臨時理事会】

日時場所：2012年10月5日(金)19:00～ 江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|-----|---------------------|------|
| 審-1 | 10月例会開催計画(案)の承認について | 【承認】 |
| 審-2 | 濱田君への対応について | 【承認】 |

【10月定例理事会】

日時場所：2012年10月23日(火)19:30～ 江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|-----|------------------------|------|
| 審-1 | 11月例会開催計画の承認について | 【承認】 |
| | 臨時総会開催の承認について | 【承認】 |
| 審-2 | 7月例会開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審-3 | 第76回通常総会開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審-4 | 第76回通常総会懇親会開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審-5 | 出前事業開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審-6 | 神楽事業開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審-7 | 江の川かわくんだり事業開催報告の承認について | 【承認】 |

- | | | |
|-------|--------------------|------|
| 審一 8 | 江の川祭事業開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 9 | 新入会員(松田君)入会の承認について | 【承認】 |
| 審一 10 | 新入会員(安藤君)入会の承認について | 【承認】 |
| 審一 11 | 佐々木君退会の承認について | 【承認】 |
| 審一 12 | 濱田君退会の承認について | 【承認】 |
| 審一 13 | 石井君退会の承認について | 【承認】 |

【11月定例理事会】

日時場所：2012年11月20日(火)19:30～ 江津商工会議所2F研修室

審議事項：

- | | | |
|------|-------------------|------|
| 審一 1 | 卒業式式典開催計画の承認について | 【承認】 |
| 審一 2 | 卒業式懇親会開催計画の承認について | 【承認】 |
| 審一 3 | 9月例会開催報告の承認について | 【承認】 |

【12月定例理事会】

日時場所：2012年12月11日(火)19:30～ 江津商工会議所2F中会議室

審議事項：

- | | | |
|-------|-------------------------|------|
| 審一 1 | 11月例会開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 2 | 卒業生送る会式典開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 3 | ホームページ作成運用に関する報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 4 | 対外広報誌発行に関する報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 5 | 総務情報委員会事業報告について | 【承認】 |
| 審一 6 | 梅野君退会の承認について | 【承認】 |
| 審一 7 | 卒業生送る会懇親会開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 8 | 会員拡大活動に関する報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 9 | 3分間スピーチ実施に関する報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 10 | スマイルボックス実施に関する報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 11 | 新入会員セミナー開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 12 | 組織力強化委員会事業報告について | 【承認】 |
| 審一 13 | 食フェス事業開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 14 | 10月例会開催報告の承認について | 【承認】 |
| 審一 15 | ローカルファースト実践委員会事業報告について | 【承認】 |
| 審一 16 | 石見神楽人育成委員会事業報告について | 【承認】 |
| 審一 17 | 江の川祭実行委員会事業報告について | 【承認】 |
| 審一 18 | 会員大会運営会議事業報告について | 【承認】 |

【決算理事会】

日時場所：2013年1月15日(水)19:00～ 江津商工会議所2F中会議室

審議事項：

- | | | |
|------|-------------------|------|
| 審一 1 | 2012年度決算報告の承認について | 【承認】 |
|------|-------------------|------|

2012年度委員会事業報告（案）

総務情報委員会 委員長 難波 和彦

礼節を重んじる和の精神から学ぶ規律ある組織運営と、的確な情報発信、お互いの情報の交換と連携、共有化で組織の扇の要として、理事長をはじめ全メンバーへのサポートを行い、より強固な絆をもった組織づくりを目指した1年でした。

①LOM諸会議の設営、組織力強化委員会と連携した組織運営、議事録作成

- ・京都会議、サマコン、地区コン、全国大会、11月例会等の設営に関しましては、心のこもった、落ち度のない設営を目指しておりました。皆様のご協力もあり、どうか達成することができたと感じています。
- ・総会、卒業生を送る会では、組織強化委員会と連絡を取り合い会議の運営を行いました。総会で予定時間を超えた際は、懇親会で時間調整して頂き、感謝しております。何より
- ・議事録に付きましては、次の理事会に間に合わなかったことが数回あり、理事会出席者に大変迷惑を掛けることになってしまいました。

②事務局業務支援と各種記録情報の管理

- ・事務局員福田さんと連絡を取り合ことで対応しました。
- ・事業に参加して撮り溜めた写真はすべて事務局のパソコンに集めることで、情報の管理と共有化ができました。

③透明性のある組織を目指した情報発信と、更新業務の徹底

- ・江津青年会議所は普段何をしているのが分かるように、委員会の進捗状況を発信することで、透明性のある組織を目指しました。また、懇親会の情報発信を無くすることで礼節をわきまえた情報発信ができたと感じています。
- ・更新記事数は例年に比べ増えましたが、結果的にアクセス数増加に繋げることができませんでした。

④和の礼節の研究と習得

- ・1年間を通して9回の礼節講座を開催しました。例会で頂いた時間を超えること度々あり、担当された委員会に迷惑を掛けることがありました。礼節よりもマナー講座になってしまったこともありましたが、いろいろ調査する際に、自分たちも深く知らなかったこと学ぶことができましたし、皆さんに伝えられたことができたと感じています。

⑤ 会員拡大の実施

- ・委員会として候補者を絞り、拡大を行いました。一人も入会させることができませんでした。次年度拡大委員長に伝えることで次年度に繋げたいと考えています。

⑥ 震災復興支援

- ・総務情報委員会単体では、中々支援が難しく結果を出せなかった職務となりました。

皆さんの多大なお力添えのお陰もあり、どうにか総務情報委員会としての職務をほぼ全うすることができました。和の心と礼節をもって、1年間より強固な絆を作ることを目指して活動して参りました。礼節講座を通して共に学んだことに関しましては、JCマンとしてのみならず社会人として、日本人として共に成長できたと感じて頂ければ幸いです。

情報の共有化に関しましては、メンバー全員のフェイスブック登録、様々なツールの作成などを達成することができましたが、それを有意義に活用することができたとはとても言えません。まだまだ、土台を作った状態だと感じています。今後は更にその必要性を全メンバーに浸透させていかなければなりませんので、微力ながら尽力したいと考えています。

総務情報委員会として多数の会議等の設営を行いました。参加された皆様のご協力が無ければ、何も達成できなかったと感じております。私を含む総務メンバー一同、この団体の絆の強さを改めて認識した1年となりました。

最後になりましたが、総務情報委員会に協力を頂き、本当にありがとうございました。

2012年度委員会事業報告（案）

組織力強化委員会 委員長 山形 瑞樹

今年度、組織力強化委員会は会員拡大活動、組織力の強化、災害支援活動と3つ柱を軸に1年間活動を邁進してまいりました。会員拡大では目標を10名入会と掲げメンバー各位のご協力の基12名の新入会員獲得となりましたが、内3名の新入会員との意思の疎通が上手くいかず、退会結果となりました事に深く反省いたします。会員拡大に伴い、江津青年会議所の存在意義と地域振興を軸に諸先輩方の積み上げて来られた志を受け継ぎ、強い組織体制を全メンバーで創り上げ絆を深める活動をしてまいりました。また、2011年3月11日東日本大震災からの翌年、災害支援活動の一環として、被災地の状況と完全復興までの支援の継続を江津市民へ訴える例会を、行政とともに開催いたしました。

①会員拡大活動への提案と実践、OBとLOMメンバーの拡大活動協力体制の推進。

・メンバーとともに会員拡大の重要性を唱え「会員拡大会議」2月15日、4月16日、6月13日、8月23日に計画を定め、8月23日に10名入会達成報告を致しました。後に、11月例会にて続いて2名入会者の報告を致しました。

・2月例会にて講師として公益法人日本青年会議所 人的資源グループ 拡大委員会 副委員長 小池重憲 君と同委員会 委員 市村 努 君をお迎えし全国の会員推移から会員拡大の重要性を 小池 重憲 君より講義していただきました。

以上の活動にて、会員拡大会議と2月例会にて会員拡大活動へのメンバーの意思の高揚が目標に近づいた結果だと思えました。

②総務情報委員会と連携した組織運営。

第75回、第76回通常総会、卒業生送る会それぞれの懇親会を担当させていただきました。

・第75回、第76回通常総会では、メンバーの出欠等に手間取ってしまい不慣れな点が多々ありメンバー各位に大変ご迷惑をかけてしまい進行の難しさを痛感いたしました。メンバーの団結力、結束力を高めるためには、懇親会は重要ということも改めて実感いたしました。

・卒業生を送る会では、特別会員出欠の総務との連絡が上手くいかず、特別会員へご迷惑をかけてしまったことは反省点です。総務との連携した組織運営を出欠という初歩的な部分からしっかりするべきと思えました。

③会員拡大に関する事業の実施。

今年度、4月に「経営学とまちづくりセミナー」講師に石見智翠館高校の理事でもある法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授 久保田 章市 氏をお迎えし、経営改革を事例に講義していただきました。異業種の方々との接点を各位メンバーが多く交流を持てる環境づくりを図るため、また江津市を想う有志を増やす目的で異業種交流会を実施いたしました。結果として、新入会員を獲得することができ、会員拡大は各々で実

施するためにも、メンバーを巻き込んだ事業実施することが会員獲得の早道と感じました。

④会員相互の意思統一を図るための企画、運営。

今年度、当委員会は各通常総会の懇親会を担当させていただきました。会員相互の意思統一を図るためのアトラクションを考えすぎてしまい、時間配分がオーバーすることがありメンバーへ大変ご迷惑をお掛けしたことが、反省でした。また、卒業生をおくる会懇親会を担当しましたが、リハーサル時に修正点が多々あり全体リハーサルの進行を妨げる結果となりましたことが反省です。リハーサルまでの準備も大切な運営の一つと強く感じました。

⑤3分間スピーチの実施。

今年度の実施内容として1年間、同じテーマ、スピーチ者・講評者を事前に決定した内容で実施いたしました。スピーチ内容も同じであり、スピーチ者を昨年度と今年度入会者に絞ることで、スピーチ内容の事前準備ができ、入会の浅いメンバーへの修練ができた結果となりました。

⑥スマイルボックスの運営。

今年度は、当委員会が率先した情報収集を実施いたしました。誕生日、結婚記念日、各事業、facebookを中心に情報収集を図ることで、メンバーの喜びをみんなで分かち合うことができ、新入会員にも率先したスマイルボックス参加のきっかけにもなりました。

⑦震災復興支援とLOMと被災地との連絡調整。

東日本大震災より翌年を迎え、江津青年会議所として対外的に震災復興支援について5月例会を実施いたしました。江津市役所より総務部 総務課 防災係 中川 稔氏をお迎えし江津市の震災に対する取り組みと防災連絡網のご説明をしていただきました。その後、被災地でもあり、被災を経験された、JCシニアクラブ所属 福島県相馬市出身(株)東日本震災復興協会 荒井 大蔵氏をお迎えし、震災前から震災後の状況の説明、被災地での被害状況と精神的ショックを踏まえ、完全復興までの支援の継続をわかりやすく講演していただきました。また、この例会にて相馬市より被災地での経験からなる「報告書」が送付され、今後の江津市の防災・減災対策に役立ててほしいと提案がありました。相馬市と江津市との相互間の絆が深まった例会でした。江津青年会議所は震災復興に、今後も継続的に携わる活動が求められると感じました。

最後に今年度、組織力強化委員会 委員長をさせていただき、全メンバーのご協力の基、会員拡大活動から各総会、例会そして事業と遂行できましたことに深く感謝いたします。理事長が掲げる「不撓不屈 貫き通す意地と矜持をもって 陽をまた昇らせる」が体感できたと感じております。活動をする上で戸惑う面もありましたが、委員会メンバーの支えがあり絆と達成感を味わうことができました。また、江津青年会議所にご協力していただいた皆様様に感謝の意を表します。誠にありがとうございました。

2012年度委員会事業報告（案）

石見神楽人育成委員会 委員長 漆谷久利

石見神楽を未来につなげるため、過去に様々なことを学び運動してきました。この運動を通して蓄積したデータや関わりあった方たちとの得た『絆』をもとに、石見神楽を支え受け継ぐ、ヒトづくりを行い、誇れる伝統芸能『石見神楽』を力強く内外に発信することができました。

① 「石見神楽」を通じた人材育成、事業の実施とネットワークの構築

■ 4月公開例会「かぐらっこ育成プロジェクト」～神楽に憧れるシステム作り～

東山神楽団の宮上団長、河月副団長にご講演頂きました。講演の中で「地域の子は地域で育てるというパワーが必要。神楽と社会が強固なタッグを組むことが大切」というお言葉を頂き、青年会議所メンバーだけでなく、行政・社中・神楽に関わる者達全てがこれからの神楽を担う子ども達は自分たちの手で育てていくのだという意識が統一されたと感じました。

また、石見神楽の現状として神楽を取り巻く環境として、少子高齢化や子ども達を取り巻く環境の変化などは、どの地域でも同じような悩みを抱えているということを認識しました。

■ かぐらっこ育成プロジェクト～夏神楽in江の川祭～

江津市石見神楽連絡協議会と石見神楽人育成委員会メンバーから構成される子ども神楽実行委員会を立ち上げ、次年度以降は協議会が主催するという継続を目標に開催しました。企画から運営までの主導権は、ほぼ、石見神楽人育成委員会が握り、最後まで協議会の積極的な関わりは乏しく、結果、次年度以降、江津市石見神楽連絡協議会が主催で子ども神楽共演大会を継続して開催することにはなりませんでしたが、しかし、大会が終わってみて「来年の子ども神楽大会は、屋内でやろう」という声も聞けましたし、10月20日に行われた、浅利地区 寄江神社 秋の例大祭奉納神楽では、大都神楽団の演目に子ども神楽（八幡）が上演されました。このことは、社中の中にも変化が表れ始めた証拠だと思います。わずかな変化ではありますが、「かぐらっこ育成プロジェクト」事業の一つの成果だったと考えます。

■ 9月例会 継往開来 ～人を動かす為には、まず自分たちが変わる～

本例会では、今年一年間の活動を通して感じた問題点をテーマに江津青年会議所メンバー全員で議論できる場を設けました。当初からディスカッションで結論まで導き出すことを想定してはいませんでしたが、着地点が見えないまま進んで時間が来て、うやむやのまま終わった後味の悪さは否めません。結果として、9月例会のテーマにそぐわない形でディスカッションを終了させることになりました。ディスカッション時のシナリオと事前リ

ハーサル不足を露呈する形になってしまいました。

しかしながら、単年度制と継続事業の良し悪し、なぜそうなのかなどを議論出来たのは良かったと思います。長年こう思っていたとか、こう思っているとか、こうあるべきなど、メンバー内で話せたことは共有意識を持つ上で重要だったと考えます。

② 「石見神楽」を活用した出前授業の実施

■出前授業「かぐらっこ育成プロジェクト」～神楽に憧れるシステム作り～

今回実施した出前授業は、アンケート結果から参加した小学生は、神楽というものが身近な存在であるということを確認してもらい、興味を持ってもらえました。また、地域の歴史や伝統芸能に誇りを持ち、担い手や支援者に興味を持たせ、8月の神楽事業に参加したくなる気持ちを醸成することに繋がり、当初掲げた目標は達成できたと考えます。しかし、動員に於いては、事前の調査不足や行動が後手、後手となってしまい、結果的に江津東小学校1校だけでの実施に留まってしまったことは、大きな反省点で今後の課題だと思えます。

③ 会員拡大の実施

4月に行われた異業種交流会において、委員会メンバー全員で積極的に入会候補者の集客に力を入れましたが、参加者からの入会には至りませんでした。しかしながら、委員会メンバーのアプローチから1名の入会をしていただくことができました。

④ 震災復興支援

江の川祭に実施されたキャンドルナイトなどの震災復興支援事業の設営に携わりました。

最後に

本年度、2度の例会と出前授業、そして子ども神楽共演大会を実施しました。一年を通して特筆すべき点として、5月25日より実施した事業である出前授業「かぐらっこ育成プロジェクト」～神楽に憧れるシステム作り～が中国地区コンファレンスの褒賞に於いて最優秀グランプリを頂きました。このことは、先輩方の今までの功績や江津青年会議所メンバーの団結力で勝ち取った賞だと思いますし、中国地区協議会で評価されたことは、委員会メンバーにとっても江津青年会議所メンバーにとっても大きな自信に繋がったと思えます。

さらに本年度は、社中関係者を実行委員会メンバーとして子ども神楽共演大会の開催に関わってもらった事で、今まで築いてきた『絆』をより強固なものになったと思えます。次年度以降も社中と青年会議所が団結して江津の宝である石見神楽を内外に発信し続けて頂きたいと思えます。

本年度は、委員会メンバーをはじめとし、江津青年会議所メンバーに支えられた一年となりました。本当にありがとうございました。

2012年度委員会事業報告（案）

ローカルファースト実践委員会 委員長 森口善宣

われらが故郷「江津」を活気溢れるマチにすべく、江津市の誇りとは魅力とはなにかを市内外に発信し、多くの方に魅力を再発見していただき、さらに江津に誇りを取り戻していただくことで陽をまた昇らせることができると信じ事業展開を行って参りました。本年度は江津市の魅力として「食」「環境」に目を向けて2度の対外事業を行い、また青年会議所のメンバーの意識向上、関係各所団体を巻き込んでの報告を兼ねた試食会と3度の例会を運営することで、江津市の魅力を追求し、発信さらに多くの方にその魅力を気づいていただけたことができた一年となりました。

- ① 江津の食材を用いた食育と地域振興の研究と実践
- ② 江津の食とこのマチの魅力を発信

1) 3月例会 食にみる江津の魅力再発見！

食育を前面に出し、江津市の活動や市内の食材、地産地消についてプレゼンテーションしました。さらに、対外事業である「江津食フェス2012」のキックオフ例会とし、一年後の当委員会の目指すゴールを示すことができ、青年会議所メンバーの意識統一ができた例会となりました。

2) 食フェスから始まる江津市の食伝説「江津食フェス2012」

一年間を通し、当委員会が推し進めた「食」をテーマとした江津市の魅力再発見、発信の場として、9月15日島根ブロック大会と同時開催を実施いたしました。市内をはじめ11店舗の出店を実現し、市内外の多くの参加者と県内青年会議所メンバーにも江津市の食を堪能していただき、美味しい食べ物を通して江津市の魅力を体感できた事業となりました。

3) 10月例会 実食！江津の食伝説～地域食材を利用した秋の試食交流会～

一年間の総決算として「3月例会」「6月例会」の復習、「第5回江の川かわくだり」「江津食フェス2012」の事業実施報告を行いました。また、当委員会と切っても切れない「食」からの江津市の魅力を発信することを表現するため、例会において試食交流会を実施いたしました。市内関係諸団体を巻き込んでの交流会を通して改めて江津市の魅力を感じることができた例会となりました。

③ かわくだりの実践

1) 6月例会 恵み豊かな江の川の魅力に迫る

江津市の宝「江の川」にスポットを当て、その歴史、文化、地域との関わり合いについて調査研究しメンバーに向けてプレゼンテーションを行いました。さらに、7月に実施す

る「第5回江の川かわくだり」のキックオフ例会として、青年会議所メンバーの意識統一ができた例会となりました。

2) 江の川かわくだり「第5回江の川かわくだり」

第5回を数える江津青年会議所の継続事業を本年も実施いたしました。106名の一般参加者を動員し、江津市の宝である「江の川」の魅力を感じ、また江津の食材を用いた昼食などを通して地域食材の魅力を味わっていただくことで、その魅力に気づいていただけた事業となりました。

④ 会員拡大の実施

年間を通して、委員会実施の度に進捗を確認するとともに、外部への情報を発信してまいりました。

⑤ 震災復興支援

青年会議所が行う復興支援のプログラムの周知徹底やJC-AIDの促進など委員会内で関心、情報を共有し各委員でできる可能範囲での活動を実施いたしました。

繰り返しのようですが、一年間、江津の魅力について探究をつづけ、「第5回江の川かわくだり」「江津食フェス2012」にて最大限の表現の場を頂きました。これも江津青年会議所メンバーが共に当委員会の活動に対しご理解ご協力を賜り続けていただけたことによるものです。心くじけそうなとき、江津青年会議所メンバーが支えていただけたことは不撓不屈の精神を養うだけに留まらず、さらに大きな舞台へと当委員会の活動を高めていただきましたこと、委員会一同、江津青年会議所メンバーの皆様に対しこの場をもって感謝申し上げます。

さて、江津市にはまだまだ多くの魅力溢れる宝が眠っております。その中でも今年は「食」を第一のターゲットとしてもっとも掘り下げることができました。「食」については「3月例会」「食フェス2012」そして「10月例会」、また「かわくだり」については「6月例会」「第5回かわくだり」とストーリー性を持たせることでより情報発信性を高めることもできましたし理解も深めることもできました。また当委員会の職務の遂行をスムーズに実施することができました。さらに目的を達するためにどのような道筋でどのような材料をもって多くの方に共感いただけるのかどうか、自問自答する日々でもありましたが、これも年間のストーリーを描くことでぶれることなく活動ができたと考えております。そして、集大成といたしまして、3つの提言を発表いたしました。

- ①江津市が誇りある活気溢れるマチになるためには江津の魅力を掘り起こしていきましょう。
- ②江津の魅力として「食」を取り上げ江津市内外に情報を発信していきましょう。
- ③常に自らが情報発信の中心となるよう江津に関心を持ちましょう。

事業を展開し、また多くの事柄と触れることにより紡ぎたした言葉であります。明るい豊かな社会の実現には個人の行動力が欠かせません。豊かさを追求するためにも誰かがしてくれるのではなく自らが率先して行動することで一歩でもその豊かさに近づけられると信じております。さらに、35周年において5つ豊かさについて宣言し40周年へと大きく前進する江津青年会議所にとって、さらに何よりも宮津理事長の所信に対し、当委員会の活動が少しでも寄与できたことを願っております。

最後となりましたが、今年一年間「不撓不屈～意地と矜持をもって陽をまた昇らせる」のローガンのもと、厳しくも暖かく見守り続けていただきました宮津秀行理事長をはじめとされます正副理事の皆様にご挨拶申し上げますとともに心からの感謝を申し上げます。ひとときわ担当副理事長として日夜心配ばかりさせてしまいました岡田誠副理事長におかれましては全身全霊で私のそして委員会の思いを受け止めていただき、さらに時に優しく時に厳しくご指導いただきましたこと本当にありがとうございました。そして、一年間当委員会の活動に最後の最後まで力添えいただきました江津青年会議所メンバーの皆様、本当にありがとうございました。

文責 森口善宣

2012年度社団法人江津青年会議所

ローカルファースト実践委員会

担当副理事長 岡田 誠

委員会メンバー

監事	横田 弘
委員	梅田栄男
委員	金村雅之
委員	平下智隆
委員	天野 真
運営幹事	青笹輝和
副委員長	阿瀬川浩史
委員長	森口善宣

以上8名

2012年度委員会事業報告（案）

江の川祭実行委員会 委員長 山藤志哲

今年度、当委員会では6万人もの人々が集う「江の川祭」を、「活力溢れるマチへの新たな挑戦」をテーマに行動し、そして市民の方々と青年会議所メンバーが一体となって、江津市で一番暑い夏の祭典を実現することが出来たと感じました。

- ① 江の川祭の企画・運営
- ③ 市民参加型の祭への研究と実践
- ④ 継続可能な祭に向けての研究と提案
- ⑥ 震災復興支援

■うちわコンテストの部門数の増加によるバリエーションの増加、神楽事業のため使用したモア跡地をメイン会場にした江津市音頭パレード、さらに、東日本大震災における、市民(国民)感情の風化を抑制し、継続的支援活動の啓発を促すことを目的とした、キャンドルナイトを開催しました。結果として、江津市で一番暑い夏の祭典を実現出来たと感じました。

■うちわデザインコンテストでは、テーマを「活力溢(あふ)れるマチへの新たな挑戦！！～こんな江津になってほしい～」と設定し、郷土に対する想いを712の作品に表現していただきました。このことにより、応募者の郷土愛を醸成し、江津の未来への活力を与えることができましたと考えます。また、6万人と発表された来場者に4000枚の作品を配布できたことは、来場者の郷土愛と活力を増し加えたと確信します。

■今年度の新規事業であるキャンドルナイトと復興支援活動に、多くの一般市民が参加いただきました。これは風化しつつある被災地と被災者への意識を呼び覚ます結果を得たと考えます。また、JC-AIDの普及活動は継続的支援にとどまらず、幅広い防災減災意識を醸成することができたと考えます。

■江津市音頭パレードには昨年度を越える参加団体を獲得できました。このことにより、江の川祭への参加度合いを増進させることを達成したと考えます。

- ② ごうつ秋まつりへの参加

■江津市における秋の最大イベントとして定着しております、本年で第12回を迎えます「ごうつ秋まつり」に参加させていただきました。地域食材(江津の食材)を使用し、郷土の食材への興味を持ってもらうことができ、また、江津青年会議所メンバーに自らの活動に対する誇りを持ってもらい、江津青年会議所の団結力と絆が地域経済・社会(明るい豊かな社会の形成)において不可欠であると認識することができました。

- ⑤ 会員拡大の実施

■拡大には至りませんでしたでしたが、積極的に江津青年会議所をアピールすることができました。

最後に、メンバーの皆様のご協力により、無事に、そして盛大に開催できましたこと、大変感謝しております。次年度以降も、主体性をもってこの江の川祭に参加していきますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

2012年度委員会事業報告（案）

会員大会運営会議 議長 堀江 毅

2002年以来、10年ぶりに島根ブロック会員大会を開催するにあたり、主管 LOM として万全の体制を整える必要がありました。対内的にはメンバーの会員大会開催に対する意識を高めること、そして一致団結することを目的とし、そして全体としては、参加された市民や各地会員会議所メンバーに「会員大会に来てよかった」、「江津に来てよかった」と思ってもらえる大会の実現を目指しました。

また、どんな困難や試練にも屈せず立ち向かい、未来を切り開いていくための『覚悟』と『力』を養うための LOM 内研修を実施しました。

① 会員大会に向けての研究と例会実施

会員大会を成功へ導く為の例会を開催いたしました。何よりも、会員大会を経験したことのないメンバーや、入会が浅く、ブロック協議会の実態も把握出来ていないメンバーが大半を占めるなか、如何にして会員大会に向けて士気を高めていただくかというところから例会の構成を考えました。まずは会員大会と島根ブロック協議会のそもそもについて説明いたしました。会員大会については過去の大会や他ブロックの実例を踏まえた説明をしました。島根ブロック協議会の説明については雑学も交えながら楽しく理解していただこうと努めました。次に、島根ブロック内メンバーとの繋がりを実感し、江津青年会議所に誇りと自信を植え付けるために、他 LOM からのメッセージビデオを作成しました。熱く寄せられるメッセージに刺激され、士気の高揚につながる事ができたと思います。

② 島根ブロック協議会との協力体制の構築と企画運営

会員大会開催には、主催の島根ブロック協議会と、主管の江津青年会議所の信頼のある協力体制の構築が不可欠であります。島根ブロック協議会での決定事項や運営会議の活動内容、準備の進捗状況等を理事会や正副理事長会議において随時報告し、情報の共有化に努めました。

③ LOM 内研修の実施

6月2日(土)、3日(日)に鹿児島県にて LOM 内研修を実施いたしました。知覧特攻平和館では、国難のときに立ち上がってくださった先人に触れることにより、気高き志と愛するものを思う心、生かされている喜びと感謝、生きることの責任を学びました。また、一泊二日という時間をメンバー同士で共有することにより、組織の団結力を一層高めました。

④ 会員拡大の実施

入会のお手伝い一名を目標に、会員拡大活動を行いました。結果として、一名が新たにメンバーへ加わることとなりました。新たに仲間となったメンバーに対し、次年度以降も様々な形でサポートしていく所存であります。

⑤ 震災復興支援

組織力強化委員会、また、地区、ブロックの諸委員会が展開する災害支援運動に積極的に参加、協力することを会議体としての震災復興支援をといたしました。しかし、一年通しての取り組みとしては不十分でありました。もともと震災復興支援に対する意識の高い会議メンバーであったため、自らが積極的に行動し、各種事業への参加推進を図るべきでした。

市民参加型の会員大会は、青年会議所運動が試される場でもありました。また、ブロック内全会員会議所メンバーをお招きするビッグイベントは、主管 LOM 江津青年会議所が試される場でもありました。この会員大会を無事開催することが出来たのは、我々江津青年会議所メンバー一人ひとりが当事者意識を持ち、何事にも負けない不屈の精神と江津青年会議所であるプライドを持って臨んだからであると確信しております。会員大会で発信したメッセージは、多くの市民と各地会員会議所メンバーに意識の変革をもたらすことが出来ました。我々の取り組みこそが、社会、また島根ブロック協議会の陽を昇らせる原動力であったことを確信いたします。

本年は島根ブロック協議会の議長としても、活動させていただきました。LOM とは異なる新たな環境に身を置くことにより、多くの魅力的な方々との御縁に恵まれ、自身の未熟さをあらためて気付かされ、これまで以上に多くのことを学ばせて頂きました。また、外へ出たことにより、内側には意識しない江津青年会議所の魅力を再認識することが出来ました。多くのメンバーの皆様にも積極的に出向していただき、自身の力を試し、青年会議所運動の魅力と可能性を自分の目で確かめていただければと思います。

この一年、メンバーの皆様より多大なるご支援とご協力を賜りました。5月より始まったPR活動においては毎回多くのメンバーに参加していただきました。記念講演のチケット販売に、大会前日のリハーサル。そして当日と。本当にお世話になりました。本年もまた、仲間の支えを肌で感じさせていただきました。皆様、本当にありがとうございました。

褒 賞

最優秀委員会

ローカルファースト実践委員会

最優秀メンバー

ローカルファースト実践委員会 金村 雅之

例会皆出席賞

16年：伊藤 誠二

10年：山藤 志哲

8年：砂田 秀人

7年：横田 弘

6年：永井 敏敬

4年：難波 和彦、漆谷 久利、堀江 毅

3年：宮津 秀行、山形 瑞樹、佐々木 一成、小川 知興、森口 善宣

2年：三上 貴子

1年：阿瀬川 浩史、横手 慎一、和田 智之、渡利 耕平、金村 雅之、

山本 倅三、宇都宮 将、青笹 輝和、天野 真

社団法人 江津青年会議所 2012年度 総会例会出欠一覧表

	総会	2月例会	3月例会	4月例会	5月例会	6月例会	7月例会	総会	9月例会	10月例会	11月例会	卒業式	
担当委員会/会議	総務	組織	LF	神楽	組織	LF	会員大会	総務	神楽	LF	総務	総務	
正副	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
宮津 秀行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
伊藤 誠二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
佐々木 一成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
岡田 誠	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	91.7%
山藤 志哲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
小川 知興	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
総務情報委員会	66.67%	100.0%	83.3%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
難波 和彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
押越 奈津紀	○	○	x	○	x	○	○	○	○	○	○	○	83.3%
山本 倭三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
室谷 文統	○	○	○	○	○	○	○	x	○	○	○	○	91.7%
今城 崇	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	91.7%
石井 将志	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	91.7%
組織力強化委員会	87.5%	87.5%	80.0%	72.7%	81.8%	90.0%	80.0%	93.3%	60.0%	80.0%	86.7%	93.3%	
山形 瑞樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
宮里 慎二郎	○	○	○	○	○	○	○	○	x	○	○	○	91.7%
横手 慎一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
前川 博紀	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0%
竹岡 和宏	x	x	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
宇都宮 将	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
岩本 淳	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	91.7%
佐々木 寿	○	○	x	x	x	x	x	x	x	x	-	-	16.7%
本田 匠	-	-	○	○	○	○	x	○	○	○	○	○	75.0%
松田 京子	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	83.3%
小幡 勝信	-	-	-	○	○	○	○	○	x	○	○	○	66.7%
柘植 賢志	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	75.0%
前田 史朗	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	41.7%
上野 真吾	-	-	-	-	-	-	-	○	x	x	x	○	16.7%
梅野 真志	-	-	-	-	-	-	-	○	x	x	x	x	8.3%
濱田 大	-	-	-	-	-	-	-	○	x	○	-	-	16.7%
平下 茂親	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	41.7%
松田 功	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	16.7%
安藤 敬信	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	16.7%
ローカルファースト実践委員会	88.9%	100.0%	100.0%	87.5%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
森口 善宣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
阿瀬川 浩史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
志村 竜海	x	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7%
横田 弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
梅田 栄男	○	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	91.7%
金村 雅之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
平下 智隆	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○	○	○	91.7%
青笹 輝和	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
天野 真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
石見神楽人育成委員会	77.8%	77.8%	88.9%	100.0%	88.9%	77.8%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	100.0%	88.9%	
漆谷 久利	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
渡利 耕平	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
和田 智之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
永井 敏敬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
三上 貴子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
坪内 隆	x	x	x	○	○	x	○	x	x	x	○	x	33.3%
亀尾 浩平	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	83.3%
砂田 秀人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
山本 育路	○	○	○	○	x	x	x	○	○	○	○	○	75.0%
会員大会運営会議	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
堀江 毅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	100.0%
正会員数	39	39	41	41	41	40	40	45	45	45	45	45	
出席者数	32	36	37	37	36	37	37	42	38	41	43	43	
出席率	82.1%	92.3%	90.2%	90.2%	87.8%	92.5%	92.5%	93.3%	84.4%	91.1%	95.6%	95.6%	

物品管理の部

品名	個数	保管場所
保管庫 (鉄製)	4個	2階通路-3個 事務局-1個
保管庫 (上部ガラス扉付き)	1個	事務局
演台	1個	2階通路
国旗	2枚	事務局
J C旗	2枚	事務局
パネル (国旗・J C旗)	各1個	屋上階段室
パネル (J Cソング・若い我等)	各1個	屋上階段室
J Cゴング	1個	事務局
J Cマークプレート (JCIマーク)	1個	事務局
JC宣言・JCIクリード (ファイルブック)	1個	事務局
プレジデント・リーフ (ケース入り)	1個	事務局
放送設備 (ワイヤレスアンプ他)	1式	事務局
ハンドマイク (拡声器)	1個	事務局
コードリール (30M)	2巻	事務局
延長コード	10本	事務局
例会出席表	1枚	事務局
例会看板	1枚	屋上階段室
名札立て	50個	事務局
案内看板	3個	事務局
事務机	2個	事務局
事務用回転椅子	2脚	事務局
応接セット	1式	事務局
テレビ (SONY : KV-14MV2)、冷蔵庫 (三菱)、電気ポット (パナソニック)	各1台	事務局
コピー (リコー : imagio neo 352RC)	1台	事務局
事務局員用パソコン、モニタ	各1台	事務局
メンバー用パソコン、モニタ	各1台	事務局
MOドライブ (I-O DATA S640)	1台	事務局
ハブ	1台	事務局
L A Nケーブル (長)	1本	事務局
L A Nケーブル (短)	1本	事務局
ICレコーダー (SONY ICD-UX70)	1台	事務局
電話機 (子機1台付き パナソニックVE-GP22-W)	3台	事務局
プロジェクタ	1台	事務局
スクリーン	1台	事務局
裁断機	1台	事務局
中綴じホッチキス	3個	事務局
穴開けパンチ (ガイド付き)	1個	事務局
CD (国歌・若い我等・J Cソング)	1枚	事務局
カセットテープ (国歌・若い我等・J Cソング)	3本	事務局
時計	1個	事務局
ストップウォッチ	4個	事務局
救急箱	1箱	事務局
木製棚 (箱型、本立て型)	2個	事務局
レターケース	2個	事務局
手提げ金庫	2個	事務局
郵便物計量器	1台	事務局
金製バケツ	1個	事務局
食器かご	3個	2階通路 (スチールケース)
包丁	57本	2階通路 (スチールケース)
お玉杓子	26個	2階通路 (スチールケース)
しゃもじ	15個	2階通路 (スチールケース)
キリ	2本	2階通路 (スチールケース)
ノコ	1本	2階通路 (スチールケース)
金槌	7個	2階通路 (スチールケース)
ちりとり	3個	事務局
火箸	8本	事務局
作業めがね	6個	2階通路 (スチールケース)
ピーラー	1個	2階通路 (スチールケース)
名札入れ	33個	事務局
ダブルアクションポンプ	2個	事務局
トラロープ	1巻	2階通路 (スチールケース)

社団法人 江津青年会議所

収支計算書総括表（案）

2012年1月1日から2012年12月31日まで

（単位：円）

科目	一般会計	積立預金特別会計	合計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①特定資産運用収入	0	0	0
②入会金収入	110,000	0	110,000
③会費収入	5,375,000	0	5,375,000
④事業収入	403,000	0	403,000
⑤受取補助金等収入	1,073,691	0	1,073,691
⑥受取寄付金収入	378,131	0	378,131
⑦雑収入	34,930	395	35,325
⑧他会計からの繰入金収入	0	200,000	200,000
事業活動収入計	7,374,752	200,395	7,575,147
2. 事業活動支出			
①事業費支出	3,227,728	0	3,227,728
②管理費支出	2,652,449	0	2,652,449
③負担金支出	790,433	0	790,433
④他会計への繰入金支出	200,000	0	200,000
事業活動支出計	6,870,610	0	6,870,610
事業活動収支差額	504,142	200,395	704,537
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入	0	0	0
②固定資産売却収入	0	0	0
③固定資産取崩収入	0	0	0
④敷金・保証金戻り収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
①特定資産取得支出	0	0	0
②固定資産取得支出	0	0	0
③敷金・保証金支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①借入金収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
①借入金返済支出			0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出		0	0
当期収支差額	504,142	200,395	704,537
前期繰越収支差額	4,257,401	1,506,734	5,764,135
次期繰越収支差額	4,761,543	1,707,129	6,468,672

社団法人 江津青年会議所
一般会計 収支計算書(案)

予算書=2012年1月1日から2012年12月31日まで 計算書=2012年1月1日から2012年12月31日まで

(第1法)

(単位:円)

科目	2012年度 補正予算額	2012年度 決算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入				
特定資産利息収入	0	0	0	
特定資産運用収入計	0	0	0	
②入会金収入				
入会金収入	100,000	110,000	▲ 10,000	新入会員10000円×11名(佐々木(松田)・本田 松田・松本・小越・濱田・上野・梅野・平下・前田・安藤)
入会金収入計	100,000	110,000	▲ 10,000	
③会費収入				
正会員会費収入				
年会費収入	4,680,000	4,310,000	370,000	
新入会員会費収入	630,000	660,000	▲ 30,000	
特別会員会費収入	405,000	405,000	0	5000円×81名分
賛助会員会費収入	0	0	0	
会費収入計	5,715,000	5,375,000	340,000	
④事業収入				
委員会事業会計収入	100,000	100,000	0	対外広報誌広告料1450円×23名、宮津理事長4550円 合計24名
登録料収入	170,000	183,000	▲ 13,000	かわくだり1000円×106名、食フェス7000円×11店舗
販売収入	0	0	0	
業務受託収入	120,000	120,000	0	江津じゃがいも10000円、建設クラブ事務委託費30000円 島根ブロック協議会事務運営費80000円
家賃・会議室料収入		0	0	
預り金収入		0	0	
雑収入		0	0	
事業収入計	390,000	403,000	▲ 13,000	
⑤補助金等収入				
国庫補助金収入		0	0	
地方公共団体補助金収入		0	0	
民間補助金収入		0	0	
補助金等交付業務受託収入		0	0	
国庫助成金収入		0	0	
地方公共団体助成金収入	740,000	1,023,691	▲ 283,691	江の川祭830000円、かわくだり93691円、食フェス100000円
民間助成金収入	40,000	50,000	▲ 10,000	かわくだり50000円(三江線活性化協議会)
補助金等収入計	780,000	1,073,691	▲ 293,691	
⑥寄付金収入				
寄付金収入	378,131	378,131	0	スマイルボックスより30000円、卒業生40000円、JCカード還元金11131円、山形27000円カレンダー
募金収入	0	0	0	
寄附金収入計	378,131	378,131	0	
⑦雑収入				
受取利息収入	700	930	▲ 230	預金利息
その他雑収入	0	34,000	▲ 34,000	会員大会祝儀10000円(森口08会長)、棋聖戦謝礼金24000円
雑収入計	700	34,930	▲ 34,230	
⑧他会計からの繰入金収入				
積立預金特別会計からの繰入金収入	0	0	0	
他会計からの繰入金収入計	0	0	0	
事業活動収入計	7,363,831	7,374,752	▲ 10,921	

科目	2012年度 補正予算額	2012年度 決算額		増減	備考
2. 事業活動支出					
①事業費支出					
事業費支出					
総務情報委員会	120,000	120,000		0	卒業生を送る会式典
組織力強化委員会	110,000	110,000		0	5月例会、卒業生を送る会懇親会
石見神楽人育成委員会	540,000	385,000		155,000	4月例会、出前授業、神楽事業
ローカルファースト実践委員会	1,324,000	1,403,423		▲ 79,423	江の川かわくんだり、食フェス
江の川祭実行委員会	1,000,000	1,435,000		▲ 435,000	江の川祭
会員大会運営会議	0	0		0	
委員会事業会計支出	▲ 8,300	▲ 225,695		217,395	委員会事業費収支差額を繰入
預り金支出	0	0		0	
事業費支出計	3,085,700	3,227,728		▲ 142,028	
②管理費支出					
会議費支出		0		0	
給料手当支出	775,125	739,500		35,625	給与時給750円×938時間 交通費3000×12ヶ月
法定福利費支出	24,864	8,570		16,294	雇用保険料12ヶ月分
旅費交通費支出	0	0		0	
通信・発送費支出	350,000	280,586		69,414	N T T、佐川急便、その他通信費
消耗品支出	200,000	116,739		83,261	スローガン旗、ネームプレート、事務局使用品他
リース料支出	154,980	154,980		0	コピー機リース料12915円×12ヶ月
修繕費支出	0	0		0	
印刷製本費支出	500,000	382,162		117,838	ポレカウケ料金、対外広報誌200000円
光熱水料費支出	104,000	104,000		0	事務局冷暖房費8000円x7ヶ月 電気代4000円x12ヶ月
賃借料支出	386,400	386,400		0	事務局賃借費32200円×12月
業務委託支出	116,076	116,076		0	WEBホスティング費等、異業種交流会セミナー費50000円
インフォメーション関係費支出	0	0		0	
保険料支出	0	0		0	
租税公課支出	0	0		0	
渉外費支出	150,000	144,800		5,200	大会登録料、慶弔費、周年事業祝儀
寄付等支出	90,972	118,004		▲ 27,032	東日本大震災義援金（荒井大蔵氏）
雑支出	350,000	100,632		249,368	役員変更登記、振込手数料、半被クリーニング他
管理費支出計	3,202,417	2,652,449		549,968	
③負担金支出					
J C I 負担金支出	42,816	43,708		▲ 892	892円×39名、追加10名分8920円
日本J C 負担金支出	270,000	260,000		10,000	基本額30000円、付加金5000円×39名、付加金追加35000円
地区協議会負担金支出	24,000	21,500		2,500	500円×39名、追加4名分2000円
ブロック協議会負担金支出	174,000	159,000		15,000	基本金30000円、付加金3000円×39名、追加4名分12000円
国際協力資金支出	87,600	89,425		▲ 1,825	1825円×39名、追加10名分18250円
日本J C 出向者負担金支出	60,000	60,000		0	20000円×3名（伊藤・横田・室谷）
We B e l i e v e 購読料支出	144,000	119,500		24,500	3000円×39名、追加分2500円
J C 手帳購入料支出	0	0		0	
バッジ・プレート購入料支出	28,000	37,300		▲ 9,300	
負担金支出計	830,416	790,433		39,983	
④他会計への繰入金支出					
積立預金特別への繰入金支出	200,000	200,000		0	
他会計への繰入金支出計	200,000	200,000		0	
事業活動支出計	7,318,533	6,870,610		447,923	
事業活動収支差額	45,298	504,142		▲ 458,844	
科目	2012年度 補正予算額	2012年度 決算額		増減	備考
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計	0	0		0	
2. 投資活動支出					
②固定資産取得支出					
投資活動支出計	0	0		0	
投資活動収支差額	0	0		0	
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0		0	
2. 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0		0	
財務活動収支差額	0	0		0	
IV 予備費支出	45,298			45,298	
当期収支差額	0	504,142		▲ 504,142	
前期繰越収支差額	4,257,401	4,257,401		0	
次期繰越収支差額	4,257,401	4,761,543		▲ 504,142	

社団法人 江津青年会議所
委員会事業会計収支計算書総括表 (案)

予算書=2012年1月1日から2012年12月31日まで 計算書=2012年1月1日から2012年12月31日まで

(単位：円)

委員会名	補正予算額			当初予算額			決算額		
	事業繰入 入金	収益計	事業繰入 入金	収益計	事業繰入 入金	収益計	支出計	収支差額	
総務情報委員会	ホームページ	0	0	0	0	0	0	0	
	第75回通常総会	0	0	0	0	0	0	0	
	第76回通常総会	0	0	0	0	0	0	0	
	11月例会	0	0	0	0	0	0	0	
	卒業生を送る会式典	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	118,907	▲1,093	
	対外広報誌①	0	0	0	0	0	0	0	
	対外広報誌②	0	0	0	0	0	0	0	
	礼節講座	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	118,907	▲1,093	
	組織力強化委員会	0	0	0	0	0	0	0	
石見神楽人育成委員会	第75回通常総会懇親会	0	0	0	0	0	0	0	
	2月例会	0	0	0	0	0	0	0	
	5月例会	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	79,260	▲740	
	第76回通常総会懇親会	0	0	0	0	0	0	0	
	新入会員セミナー	0	0	0	0	0	0	0	
	卒業生を送る会懇親会	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	0	
	3分間スピーチ	0	0	0	0	0	0	0	
	スマイルボックス	0	0	0	0	0	0	0	
	会員拡大会議	0	0	0	0	0	0	0	
	会員拡大活動	0	0	0	0	0	0	0	
異業種交流会	0	0	0	0	0	0	0		
小計	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	109,260	▲740		
ローカルファースト実践委員会	4月公開例会	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	95,550	▲4,450	
	出前授業	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	47,940	▲2,060	
	神楽事業	390,000	390,000	390,000	390,000	235,000	232,656	▲2,344	
	9月公開例会	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	540,000	540,000	540,000	540,000	385,000	376,146	▲8,854	
	江の川かわくわり	224,000	554,000	224,000	554,000	224,000	473,691	0	
	食フェス	700,000	770,000	700,000	770,000	752,732	792,142	▲137,590	
	3月例会	0	0	0	0	0	0	0	
	6月例会	0	0	0	0	0	0	0	
	10月公開例会	0	0	0	0	0	0	0	
小計	924,000	1,324,000	924,000	1,324,000	976,732	1,265,833	▲137,590		
江の川祭実行委員会	450,000	1,000,000	450,000	1,000,000	605,000	1,357,582	▲77,418		
会員大会運営会議	小計	450,000	1,000,000	450,000	1,000,000	605,000	1,357,582	▲77,418	
	3月例会	0	0	0	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	0	0	0		
合計	2,144,000	3,094,000	2,144,000	3,094,000	2,196,732	3,227,728	▲225,695		

社団法人 江津青年会議所
積立預金特別会計 収支計算書（案）

予算書＝2012年1月1日から2012年12月31日まで 計算書＝2012年1月1日から2012年12月31日まで

（第1法）

（単位：円）

科目	2012年度 補正予算額	2012年度 決算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
⑦雑収入				
受取利息収入	600	395	205	
⑧他会計からの繰入金収入				
一般会計からの繰入金収入	200,000	200,000	0	
事業活動収入計	200,600	200,395	205	
2. 事業活動支出				
④他会計への繰入金支出				
一般会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	0	0	0	
事業活動収支差額	200,600	200,395	205	
当期収支差額	200,600	200,395	205	
前期繰越収支差額	1,506,734	1,506,734	0	
次期繰越収支差額	1,707,334	1,707,129	205	

社団法人 江津青年会議所
貸借対照総括表（案）

2012年12月31日現在

（単位：円）

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	35,821	35,821	0
普通預金	3,240,887	3,240,887	0
定期預金	1,707,129	0	1,707,129
未収入金	803,741	803,741	0
立替金	222,000	222,000	0
仮払金	0	0	0
2. 固定資産	0		
長期貸付金	520,034	520,034	0
資 産 合 計	6,529,612	4,822,483	1,707,129
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,700	7,700	0
預り金	28,240	28,240	0
前受金	25,000	25,000	0
負 債 合 計	60,940	60,940	0
III. 正味財産の部			
正味財産	6,468,672	4,761,543	1,707,129
（うち正味財産増加額）	（ 704,537）	（ 504,142）	（ 200,395）
負債及び正味財産合計	6,529,612	4,822,483	1,707,129

社団法人 江津青年会議所
正味財産増減計算書（案）

2012年1月1日から2012年12月31日まで

（単位：円）

科 目	合 計	一 般 会 計	特 別 会 計
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
当期収支差額	704,537	504,142	200,395
資産増加額合計	704,537	504,142	200,395
2. 負債減少額			
預り金減少額	0	0	0
負債減少額合計	0	0	0
増 加 額 合 計	704,537	504,142	200,395
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	0		
資産減少額合計	0	0	0
2. 負債増加額			
預り金増加額	0	0	0
負債増加額合計	0	0	0
減 少 額 合 計	0	0	0
当期正味財産増加額	704,537	504,142	200,395
前期繰越正味財産額	5,764,135	4,257,401	1,506,734
期末正味財産合計額	6,468,672	4,761,543	1,707,129

社団法人 江津青年会議所

財産目録総括表（案）

2012年12月31日現在

（単位：円）

科 目	合 計	一 般 会 計	積 立 預 金 特 別 会 計
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金	35,821	35,821	
預 金			
普通預金			
山陰合同銀行			
江津支店			
口座番号2120690	3,240,887	3,240,887	
口座番号3646743	0	0	
定期預金7089816	1,707,129		1,707,129
島根中央信用金庫			
江津支店			
口座番号0487239			0
未 収 入 金	803,741	803,741	0
立 替 金	222,000	222,000	0
仮 払 金	0	0	0
流動資産合計	6,009,578	4,302,449	1,707,129
2. 固 定 資 産			
長期貸付金	520,034	520,034	0
資産合計	6,529,612	4,822,483	1,707,129
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	7,700	7,700	0
預 り 金	28,240	28,240	0
前 受 金	25,000	25,000	0
流動負債合計	60,940	60,940	0
負債合計	60,940	60,940	0
正味財産合計	6,468,672	4,761,543	1,707,129

監 査 報 告 書

監事2名は、2012年度事業年度における1月1日より12月31日
までの監査を実施いたしました。

上記期間における理事会資料、各委員資料、会計資料、並びに諸帳票等を
監査した結果、いずれも正確であることを承認いたしましたので、ここに書
面をもって報告申し上げます。

2013年 / 月 9 日

2012年度 (社) 江津青年会議所

監 事 横 田 弘 

監 事 永 井 敏 敬 

2013年度 事業計画書

自 2013年 1月 1日
至 2013年12月31日



社団法人江津青年会議所

所 信

百 花 繚 乱

～咲き乱れさせる ふるさとへの想い！！～

社 団 法 人 江 津 青 年 会 議 所
2 0 1 3 年 度 理 事 長 山 藤 志 哲

2011年3月11日に発災した東日本大震災は単なる災害ではなく、社会情勢の不安にさらに追い打ちをかけ、国難ともいえる状況にこの国を追い込みました。東日本大震災と原子力発電所の事故によって突きつけられた日本の復興、そして、国難の時代にあっても政局に明け暮れ決断できない政治への不信、さらに領土・領海が脅威にさらされる安全保障問題など、我が国は、先送りすることのできない多くの問題を抱えているのです。

さらに問題なのは、国家の存在に気づいていない人々が多いことです。この国は国民のものであり、気概をもって築いてきた先人たちから引き継がれた、私たちと未来の世代のものなのです。これまで数々の困難を乗り越えてきた先人たちの努力を忘れ、どこか他人事、誰かがやってくれるのを待ち望んでいるのかもしれない。

そして、江津市に目を向けるとどうでしょう。少子高齢化による過疎化、雇用の減少による人口流出、様々な悪循環によってこのまちは元気がなくなってきていると感じます。しかしその中でも、人々に愛される伝統芸能、雄大な自然など魅力溢れる「ひと」や「まち」があるのではないのでしょうか。

この時代の転機に必要とされるのは、JAYCEEです。私たちは「明るい豊かな社会」の実現に向けて活動し、自分のためではなく人のために行動し、次の世代のために覚悟をもって新しい時代を創造する責任があります。

秀でた人物を育て、すぐれた立派な事業とふるさとへの想いを咲き乱れさせましょう。

円滑なLOM運営

社団法人格移行に向けた業務の複雑さに困惑しているメンバーは少なくありません。しかし、一般社団法人を選択する上でも、綿密な事業計画や予算立ては、目標を定めて1年間の活動を進めることに適しており、監査制度や公益性の高い活動の推進、積極的な情報発信は、透明性を求められ、地域にとってより一層役立つ活動を求められる現在において必要なことです。組織を担うメンバーひとりひとりがこの重要性を理解し、しっかりとした実務ができるよう資質の向上を行うことが必要です。

次世代の為に全メンバーで会員拡大

私の世代が卒会すると江津青年会議所のメンバー、そして全国的にみてもメンバー数が半減します。数が全てではありませんが、より良い事業を行うためにより多くの秀でた人物が必要です。危機感を持って会員拡大を行い、明るい豊かなまちの実現に向けて全メンバーを巻き込んで行動します。そして、このまちを想う魅力ある「ひと」を増やし、メンバーひとりひとりが組織と活動を理解し、積極的に事業に取り組むことで江津青年会議所をより魅力ある団体にしていきます。まちを想う青年の輪を広げ、ともに活動し、仲間を増やしていくことが明るい豊かな社会の実現へと繋がります。

秀でた人物を育てる

江津青年会議所の大半は入会年度の浅いメンバーです。そのメンバーはそれぞれ想いを持って入会しています。その想いをさらに高め、メンバー自身の資質（人を惹きつける力、人を引っばっていく力）、魅力の向上を図ることで、より強固な江津青年会議所を築き上げます。そして、他LOMの羨む団結力の強い組織にしていきます。また、組織だけでなく、地域を牽引できるリーダー的な存在、そして人々を魅了するひとづくりを行います。

石見神楽による青少年育成、そして次世代へ

私たちのまち、江津市には誇りを持って受け継がれてきた石見神楽が存在します。石見神楽は、幾度となく聞き、見ていたとしても囃子の音が聞こえてくれば、ついつい見入ってしまう、まるで私たちのDNAに刷り込まれているかのような素晴らしい地域の伝統芸能のひとつです。しかし、人口の減少、高齢化が進めば、現在社中の中心を担っている現役世代や地域で応援する人々、そして、今後の担い手となる子どもたちの減少は避けられません。誇りある石見神楽を次の世代へと脈々とつなげていくためにも、この人々を魅了する石見神楽を通じて健全なる青少年を育成し、郷土愛を醸成するとともに担い手を増やし、誇りある伝統文化を永続的に継承させていきます。

江津の魅力によるまちづくり

私たちのまち、江津市には、中国地方最大の江の川、地場産業の象徴でもある赤瓦の街並み、石見神楽や石見焼などの伝統文化、万葉集を代表する歌人柿本人麻呂をはじめとするふるさとの歴史、山・川・海からとれるふるさとの幸など多くの魅力が存在します。その魅力を最大限に引き出し市内外へ発信することで、このまちに住む人々のふるさとへの誇りと郷土愛を育て、ふるさとを離れて県外で活躍する出身者やこれからの地域を支える子どもたちの世代が誇りに想うまちづくりを行います。

江津の祭再発見と諸団体との連携強化

地域にとって祭は、その地域に住む小さな子どもからお年寄りまで多くの方々が集まり楽しむだけでなく、交流を深めて地域の結束力を高める重要な役割をもっています。子どものころから楽しんできた祭は、大人になっても忘れず、地域外へ出て行った後でさえ、参加をすれば地域にとけこむことができる「ふるさとへの想い」を強くする大切な行事です。江津市最大の祭は、なんといっても「江の川祭」です。そして、今年は第30回の節目を迎える大切な1年です。江津市民が一堂に会し、楽しみ、絆を深めるこの重要な祭を先輩方が守り、発展させ続けてこられました。この江の川祭において、ふるさとへの想いを最大限に高めるためにメンバーが一丸となって祭を盛り上げ、さらに、関係諸団体との連携強化に努め、色褪せることのない思い出をメンバー、地域の方々と共有し絆を深めます。また、地域にはたくさんの祭やイベントが存在します。江津青年会議所として地域の住民が一体化する祭やイベントに参加し、活性化させることで地域に笑顔の花を咲き乱れさせ、明るい豊かな江津を創り上げます。

2002年に入会し10年間、江津青年会議所で活動してきました。入会当初は何も分からず活動していましたが、現役メンバーや諸先輩方との出会い、そして出向したことで得られた県内や県外のLOMの方々との出会いの中で、大変多くの事を学ばせて頂き、さらに友情を深められたことに大変感謝しています。第39代理事長を仰せつかり、諸先輩方から誇りを持って受け継がれてきた江津青年会議所に恩返しを持ちを持って、そして40周年に向けさらに魅力のある組織にするべく職務を遂行する所存です。

2013年度 社団法人 江津青年会議所

基本理念

百花繚乱

～咲き乱れさせる ふるさとへの想い！！～

基本方針

- 円滑なLOM運営、効率的な情報発信の実践
- 次世代の為の会員拡大と組織力強化
- 秀でた人物を育て上げ、より強固なLOM体制を構築
- 石見神楽による青少年人材育成、次世代への継承
- 江津の魅力を最大限に活用したまちづくり
- 江津の祭再発見！諸団体との連携強化とまちの活性化

委員会構成・活動方針

総務情報委員会

- ① LOM諸会議の設営、会員拡大委員会との連携した組織運営、議事録作成
- ② 事務局業務支援と各種記録情報の管理
- ③ 透明性のある組織を目指した情報発信と、更新業務の徹底
- ④ スタッフセミナーの企画、運営
- ⑤ 社団法人格移行に伴う業務
- ⑥ 会員拡大の実施
- ⑦ 災害復興支援
- ⑧ 江の川祭の活性化、LOMの団結力強化を目指した企画、運営

会員拡大委員会

- ① 会員拡大活動への提案と実践、新入会員のフォローアップ
- ② 総務情報委員会との連携した組織運営
- ③ 各種懇親会の企画、運営
- ④ 異業種交流会の企画、運営
- ⑤ 3分間スピーチの実施
- ⑥ スマイルボックスの運営
- ⑦ 家族親睦事業の企画、運営
- ⑧ 江の川祭の活性化、LOMの団結力強化を目指した企画、運営

会員資質向上委員会

- ① 人としての魅力の向上を図る例会、事業の企画、運営
- ② 青年経済人としての自覚と、経営資質の向上を図る例会、事業の企画、運営
- ③ 会員拡大の実施
- ④ 江の川祭の活性化、LOMの団結力強化を目指した企画、運営

次世代育成委員会

- ① 石見神楽を通じて育まれる青少年育成の例会、事業の企画、運営
- ② 石見神楽を通じた諸団体との連携強化
- ③ 会員拡大の実施
- ④ 江の川祭の活性化、LOMの団結力強化を目指した企画、運営

まちづくり委員会

- ① 江津の魅力を最大限に引き出す例会、事業の企画、運営
- ② かわくだりの継続事業としての実施の検討
- ③ 江津の魅力を通じた諸団体との連携強化
- ④ 会員拡大の実施
- ⑤ 江の川祭の活性化、LOMの団結力強化を目指した企画、運営

江津の祭創造委員会

- ① 江の川祭の企画、運営
- ② 江津の祭を通じた諸団体との連携強化
- ③ 会員拡大の実施

委員会事業方針

2013年度社団法人江津青年会議所
総務情報委員会
委員長 和田 智之

青年会議所の単年度制は毎年各メンバーの役割が変わり色々な経験を積むことにより個人の資質向上に大きなメリットをもたらしています。しかし、組織として考えたとき前年度との引き継ぎがうまくいかなかった場合には同じミスを何度も繰り返してしまう可能性があるなどのデメリットもあります。また業務が複雑になる中、公益性・透明性の高い活動や積極的な情報発信等も必要とされ、メンバーに求められる資質や負担は大きなものとなっています。現役メンバーの半数以上が入会3年未満という江津青年会議所において円滑なLOM運営を行うための資質向上や効率的な情報発信の実践が求められています。

本年度の総務情報委員会の活動を通してメンバーが一般社団法人格に適した事業計画の立案により、実行性や公益性の高い事業を行うことが出来る資質向上の土台を作ります。地域に求められている透明性の高い情報発信の重要性をメンバーひとりひとりが理解し、積極的に情報発信を行い、我々のふるさとへの想いを地域の方々に伝え、ふるさと江津に活力を与えます。

円滑なLOM運営の為の手法として、各種マニュアル、資料テンプレート、提出書類チェックリスト等の江津青年会議所統一運営マニュアル作成し、年々複雑化する業務を簡素化し、資料作成の負担を軽減し、理事長・委員長の思い実現の部分に全力を注いで頂けるようにします。統一運営マニュアルは、適宜バージョンアップを行なっていくとともにマニュアルでは補いきれない部分を議案上程・会計・職務別セミナーなどの各種セミナーを開催することによりフォローし、会員の資質向上を積極的にサポートしていきます。積極的な情報発信を実現するための手法としてメンバー全員が登録しているフェイスブックをより積極的に活用します。ホームページでの組織からの情報発信だけでなく、フェイスブックでの個人からの情報発信も併用することにより地域の方々により共感を頂けるような透明性の高い情報発信を行います。

そして、ホームページの更新も各委員会の自主的な投稿以外にも当委員会が積極的に各委員会の情報を収集し、企画した記事をホームページに投稿することにより更新頻度を上げホームページのアクセスアップを図ります。さらには、対外広報誌の4月発行、会員拡大ツールとしての広報誌作成、生活情報応援誌いわみりびえ〜への記事掲載等も行い、前年度の良かった点に本年度の工夫を更に盛り込み江津青年会議所の活動を広く発信していきます。

また東日本大震災の災害復興支援における日本、地区、ブロックとの有機的な連携の強化を図ります。

我々総務情報委員会は会員の資質向上という土壌をつくり、秀でたメンバーを育てます。その秀でたメンバーから様々な個性を持った素晴らしい事業という花が咲き乱れます。その花を地域の隅々にまで届けることにより多くの方に感動を与え、ふるさと江津への想いを咲き乱れさせ理事長の掲げる百花繚乱が実現されます。

委員会事業方針

2013年度社団法人江津青年会議所
会 員 拡 大 委 員 会
委 員 長 金 村 雅 之

現在我が国を取り巻く厳しい経済環境下の中で、今の日本の青年は「明るい豊かな社会」を見出せずにいる状況が長く続いています。この江津市には今のエネルギッシュな青年が牽引しないと次の世代の責任が重くなり、結果、江津市は若者が住みにくいまちになります。我々は、自らを成長させていく青年を増やす必要があり、江津青年会議所は2011年度には14名、2012年度には12名の会員拡大に成功しました。この江津に住む若者が社会に対する不安や憤り、又はこの地域の問題を何らかの形で受け止め、「今こそ自分達が動いていかなければ」と感じ、自らの成長を願い、家族の為、会社の為、そして地域の為、さまざまな想いをもって江津青年会議所に入会したのです。しかしながら、新入会員が入会しても委員会さらには例会への参加が少ない会員がいます。この状態が続くと日に日に皆との情報の共有がしにくくなります。土日に実施される事業等に関しては、様々な業種が集まっているので、会員全員で協力することや、今の江津青年会議所の会員には江津市外の方もいるので、更なるフォローが必要です。

私たち会員拡大委員会は、会員全員が、One For All All For Oneという気持ちを常に持ち、会員の縦の絆、横の絆を益々強固なものにし、「一人じゃないんだ。皆一緒なんだ。」「ここには頼れる人もいるし、自分を必要と頼ってくれる人がいるんだ。」「一人ひとりの持っている力は微々たるものでも全員が力を合わせひとつの方向に進んだ時には大きな成果が出るんだ」と心から想える組織を作り上げます。さらに、本年度、男女を問わず10人の新入会員を仲間に加えるとともに、青年会議所の三信条でもある「修練、奉仕、友情」の意味をしっかりと理解し、活動に不安を感じることなく、次世代にこの組織を継承する為にも、この江津に明るい豊かな社会を築くことの出来る人材を育て上げます。

そのためにまず、会員同志が硬い握手を交わし、仲間意識を持ってもらいます。また、「青年会議所の活動・事業が活発になることで、この江津の活性化に繋がるんだ」ということを、総務情報委員会と連携し、江津青年会議所の活動を一般市民にもっと理解してもらうための分かりやすい広報を実施し、異業種交流会等で「青年会議所活動を通して得られる成長は、一人の経済人として学ぶべき点が非常に多くあるとともに、様々な業種の集まりなので、自分達の仕事に色々な方向性が出るんだ」ということを江津に住む青年に理解してもらう会員拡大の活動を行います。

以上のことにより、会員全員が一致団結し、しっかりと腕を組み合い、さらに自信を持って「江津青年会議所って素敵なお所だな。入会して良かったな。」と思える状態を作りあげ、江津青年会議所の輪を拡げ、まさにとびきりの笑顔が咲き乱れる江津にします。

委員会事業方針

2013年度社団法人江津青年会議所
会員資質向上委員会
委員長 押越奈津紀

私たちは日々多くのLOMメンバーと共に活動しています。しかしながら、現在、江津青年会議所においては、ここ数年間での卒業予定者が多くなり、その後に意志を継ぐメンバーの大半が入会年度の浅いメンバーです。その為JCに対する意識の部分において各メンバー間で差が生じ、現在のLOM活動の意欲が希薄になり組織運営の危機が訪れ、また地域においての継続的なまちづくり運動が困難になると予想されます。しかし、JCに入会するメンバーは、それぞれが熱い想いを持って入会しています。そのメンバーの持つ資質の向上を目指し、組織全体の内容を深く理解することでより強いLOM体制を築くことが出来ます。また、私たちはJCマンであると共に青年経済人でもあります。各自が企業を、また地域を牽引出来るリーダーシップ向上させることが今、必要だと考えます。

第一に、JCの目的・使命を今以上に再確認しなければなりません。第二に、一人ひとりが持つ内に秘めた魅力・個性を引き出し個々に理解してもらうことが大切です。第三に、社会においてもリーダーの存在は企業や地域が発展していくには欠かせない存在です。まだ本人も気づいていない隠れた資質を開花させ、JCの本質を理解し青年経済人としてのリーダーシップを向上させることを目的にJC活動を行なっていきます。

まずは、輝く多種多様な花を開花させます。自分では気付かない、気付いていない長所を引き出します。各自の今まで気づかなかった長所を再確認することは、今後のJC活動の自信につながります。また、JCマンとして、人と人の絆や想い、JC活動の目的・使命を明確化し再認識することによって各メンバーの体に染み渡らせる例会を開催いたします。

そして、青年経済人である以上、地域から必要とされる企業を作り、企業をより発展させ地域に対しても経済的な貢献をしていかななくてはなりません。当委員会では、このような「地域に貢献できる企業人」としての資質を向上させる例会を実現します。

その上で、人々を魅了するリーダーの育成は今後のJC活動を行う上でも必要です。人として、会社・地域のリーダーとしての役割、使命をまっとうするために、最も必要な逃げない心、耐え抜く精神、やり遂げる想いを養う事業を実施します。

当委員会の事業、例会を通じて、メンバー全員が理事長の想いを十分理解し、漠然とした思いを抱いていた活動に対して自信を持つことができ、今後も強固なLOM体制を築くことができます。また、各メンバーが自利利他の精神のもと、支えてくださる方々への感謝、恩返しを忘れず、即地域を牽引し得るリーダーとなることができ、「明るい豊かな社会」を築き上げます。

委員会事業方針

2013年度社団法人江津青年会議所
次世代育成委員会
委員長 渡利 耕平

私たちの住む江津市には誇れる産業・伝統文化があります。しかし、産業の分野では、石州瓦や石見焼など生活スタイルの変化や安価な製品に押され衰退の一途を辿っています。そして相次ぐ工場の閉鎖、企業の倒産により大人達は、ふるさとに対する誇りを失いつつあります。そして、子どもたちも江津市は田舎で何も無いと言い、若者は高校卒業と共にふるさとを後にする。しかし伝統文化に目を向けると、外部からも時代の流れからも影響を受けない唯一の存在があります。それが石見神楽です。江津市と言えども、アンケートを取ればトップに上がってくるのもこの石見神楽です。地域の祭りやイベント等で上演されるこの伝統芸能は神事として行われるだけではなく、芸能としても地域の人々に愛される存在です。さらに近年では地元だけでなく、県外や世界でも多くの人々を魅了しています。江津市の誇りを呼び戻す為にこの石見神楽を活性化することが必要です。

これまで石見神楽は、神楽台本の改定、蛇胴の発明、花火の使用などの変化を続けることにより現在でも多くの人に愛される文化として受け継がれて来ました。これは、面や衣装など表面的な事ではなく、神楽の本質を維持しつつ変化して行った事によりその魅力を維持し続けた結果です。そしてそれを支える社中・舞子に神楽、そして社中に対する想い・誇りは、利害を超えた非常に強いもので、社中内の団結力も強く、お互いに支えあい守り伝えていきます。しかし、江津市の石見神楽全体としての活動となると、社中内の団結力に比べ、どうしても弱いように感じます。現在市内の社中が一丸となって行っているのは年一度の神楽大会のみで、これだけ誇りと団結力を持った社中が江津市全体として団結できればよりいっそう石見神楽の存在を、ふるさとの誇りを内外に伝える事ができます。その為にも全社中が一丸となり、主体的に取り組む事が必要です。

社中同士団結し主体的な活動を行う事の必要性に気づき、自ら石見神楽の魅力伝え広げ、その姿を見る事で主体的に活動する事の必要性に気づく人の輪を広げます。

私たちは、青年会議所活動の中で多くの出会いの中で学び、気づいた事に対する感謝の気持ち、そしてそれによって自ら奮起する力を得る事ができました。それを今後の社中の中心となり、石見神楽の行く手を担う若い世代と共有します。若い世代が気づく事で、後に続く子ども達、さらにその次の世代へと誇りを繋ぐ事ができます。そのために、各社中から中心となる若手の舞子に会議へ参加して頂き、共に一つの事業を達成します。計画から共に作り上げる過程で私たちは石見神楽をより深く理解し、想いを共有します。社中は主体性を持って行動する手法を得ると同時に社中同士の絆をより深め、高い意識を持って活動する組織を作ります。

その結果、一年間を通して共に活動し、学ぶことにより、自主性を持った様々な個性が百花繚乱する誇れるふるさと江津になります。

委員会事業方針

2013年度社団法人江津青年会議所
まちづくり委員会
委員長 阿瀬川 浩史

四季折々の顔を見せる「星高山」。寄せては返す「日本海」。中国太郎と呼ばれて中国地方最大の川「江の川」。伝統文化として受け継がれている「石見神楽」、「石見焼」。地場産業の象徴でもあり燦々と輝く「石州瓦」。「柿本人麻呂」など歴史の深さを物語り、大自然と、魅力いっぱいのまち「江津」。本年度、私たちは石見焼と江の川の魅力の再認識、再発見を致します。現在窯元は、石見焼のもつ暖かい風合いを生かしながら研究も進み、焼き物も色とりどりになり、技術を駆使した製品などを製作し、伝統的な意匠、技術を継承しながらも、時代の変化に対応した商品を焼き続けています。

しかし、このまちに住む人々、またこのまちの出身者は地域に根ざした伝統芸能にも関わらず、関心が薄れてきているのではないのでしょうか。その結果、今では地域への魅力や誇り、郷土愛が衰退し続けています。このままでは、まちの宝である未来を担う子どもたちも同じ日々を過ごす事になり、問題は先送りになるばかりです。

もっと人々が江津への郷土愛を持って頂くためにも、今ここで、先人たちから受け継がれてきた国の伝統工芸品の石見焼、石見焼職人の挑戦から始まり日本三大瓦の一つになった石州瓦、そして石見焼や石州瓦の流通の要として使われていた中国地方最大の川、中国太郎こと江の川に触れなければなりません。こんなにも素晴らしい伝統芸能や自然財産を地域住民が再認識し、未来を担う子どもたちも実際に触れる機会が増えれば、県内外へ最大限に発信する事ができます。そして、このまちに住む人々、県外で活躍する出身者がふるさとへの誇りと郷土愛を高めることで、まちの活性化に繋がります。

私たちは一年間を通し、石見焼の歴史を学び、事業の中でこれからの地域を支える子どもたちと実際に触れ、工作し子どもたちと一緒にあって石見焼を再認識して行きます。そして、流通の要として使われていた江の川の雄大さを体験して頂くために「江の川かわくんだり」を実施します。その結果、江津の伝統芸能と自然財産を活用した「明るい豊かな社会」が実現します。次世代の子どもたちのためにも覚悟を持って新しい時代を創造し、江津の魅力、ふるさとの誇りを多くの方と共有することにより、笑顔が咲き乱れる江津、つまり「百花繚乱～咲き乱れさせる ふるさとへの想い！！」が実現致します。地域と共に秀でた人物を育て、優れた立派な事業とふるさとへの想いを咲き乱れさせましょう。

委員会事業方針

2013年度社団法人江津青年会議所
江津の祭創造委員会
委員長 平下 智隆

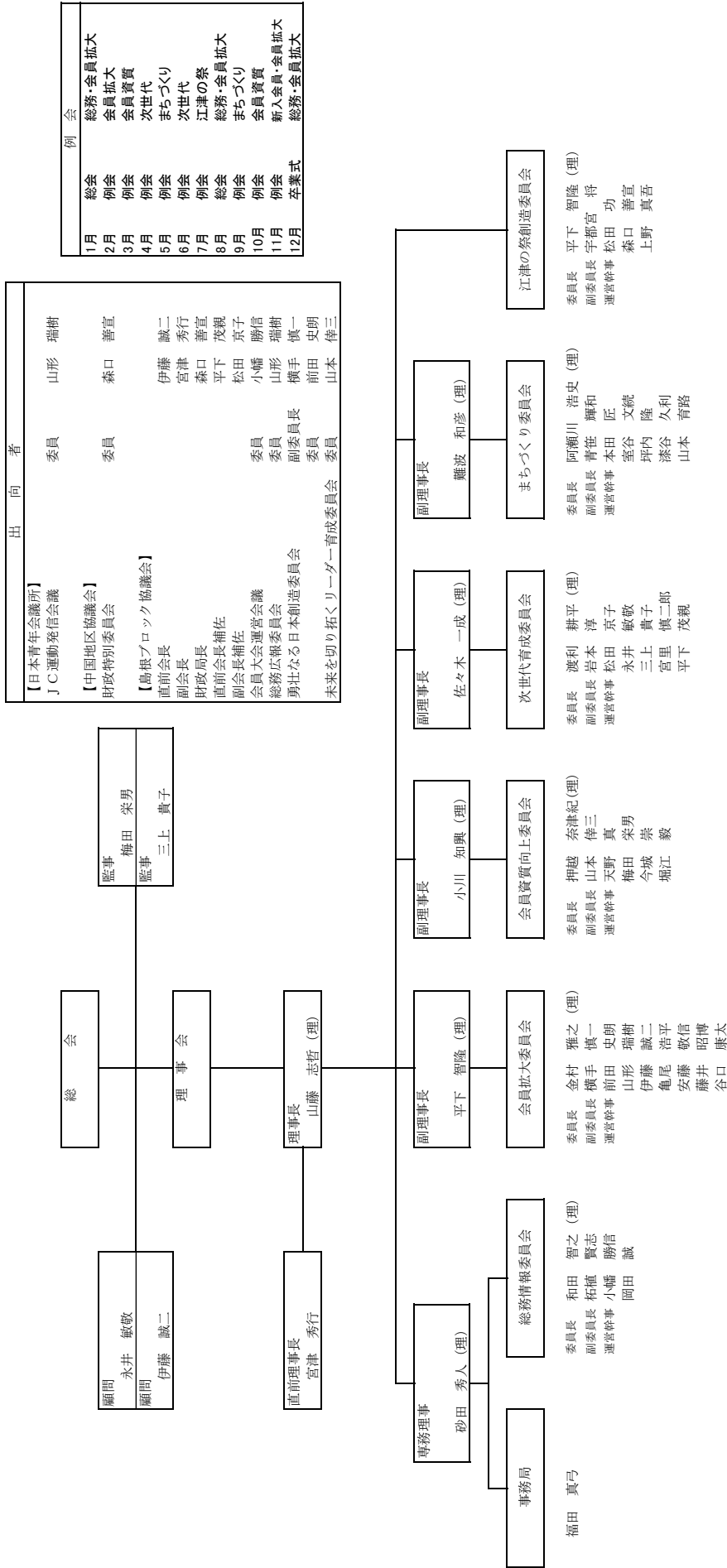
萬の神を祀る祭りにおいて、異なるそれぞれの世代の人々は一所に集まり、交流し、絆を深め、地域に結束力を与え、共同体を活性化する役割を持っています。また、祭りの思い出は、地域外に出ていった人々の記憶の中にふるさとへの想いとして強く記憶され、帰巢本能に訴えかけるものがあります。地域共同体の維持と発展には祭りは欠かせない重要なものです。江津市政30周年を記念して出発した江の川祭は本年第30回の節目を迎えます。江津青年会議所が含めた数々の諸団体が運営に加わって開催され、毎年約6万人が一堂に会す正に江津最大の祭りであります。毎年恒例の開催でややもすればマンネリ化する危険性のある継続事業に、節目にふさわしい本来の意義と関わる諸団体の一つにするリーダーシップが求められます。さらに、多くの人が集まるこの日は、江津青年会議所にとって一般の方々にJC運動を発信するまたとない機会でもあります。また、江津地域には通年を通してたくさんの祭りやイベントが行われていますが、それらが持つ歴史や意義等が意識されることはあまりありませんし、ひとつひとつの祭りやイベントの裏側にある地域への熱い想いを持った主催する人々の存在の多くは一般の人々の目に触れることはないのが現状です。

江津の祭創造委員会は、第30回江の川祭において、江津青年会議所各委員会の事業方針を一般市民に伝播する場をつくりあげ、メンバー全員の江の川祭への主体的参画を実現し、次の30年に向けた祭りの出発点となる「ふるさとへの想い」という確固とした強いベクトルを、参画する諸団体に与え、一丸となった江の川祭の企画運営を実現させます。さらに、江津地域内外の住民が、江津地域の祭りやイベントを運営する人々の熱い想い、歴史や意義に触れ、ふるさとへの想いを中心とした共同体意識を醸成します。

そのためにまず、江津地域の祭りやイベントの現状を取りまとめる調査研究を行い、一元化された情報を一般市民に提供するとともに、それぞれの祭り・イベントの歴史や担い手の想いを文章・写真・VTRで構成されるレポートとしてまとめ、WEB等を活用して広く地域内外に発信します。さらに7月例会において、江の川祭に参画する諸団体と共に、レポートの成果と祭りが本来持つ役割を確認し、江津青年会議所各委員会が行う事業や諸団体の事業を共有し、ふるさとへの想い一つにする江の川祭決起大会を行います。また、江の川祭当日においては、うちわデザインコンテストと江津市音頭パレードを継続実施するとともに、各委員会の事業が一体化された運動になるように調整、統合、支援をします。

以上のことにより、メンバー及び江津地域住民の持つ、ふるさとへの想いがより確かなものとなり、祭りを通して地域共同体の絆が深まり、住民がふるさと江津へ一体化した喜びの笑顔の花が咲き乱れる江津をつくりあげます。

2013年度 社団法人 江津青年会議所 組織図



社団法人 江津青年会議所
収支予算書総括表(案)
2013年1月1日から2013年12月31日まで

(単位：円)

科目	一般会計	積立預金 特別会計	合計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①特定資産運用収入	0		0
②入会金収入	100,000		100,000
③会費収入	6,040,000		6,040,000
④事業収入	408,500		408,500
⑤受取補助金等収入	1,850,000		1,850,000
⑥受取寄付金収入	833,000		833,000
⑦雑収入	1,000	600	1,600
⑧他会計からの繰入金収入	0	200,000	200,000
事業活動収入計	9,232,500	200,600	9,433,100
2. 事業活動支出			
①事業費支出	4,384,000		4,384,000
②管理費支出	3,276,380		3,276,380
③負担金支出	978,284		978,284
④他会計への繰入金支出	356,000	0	356,000
事業活動支出計	8,994,664	0	8,994,664
事業活動収支差額	237,836	200,600	438,436
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入	0		0
②固定資産売却収入	0		0
③固定資産取崩収入	0		0
④敷金・保証金戻り収入	0		0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
①特定資産取得支出	0		0
②固定資産取得支出	0		0
③敷金・保証金支出	0		0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
①借入金収入			0
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
①借入金返済支出			0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	0		
当期収支差額	237,836	200,600	438,436
前期繰越収支差額	4,761,543	1,506,734	6,268,277
次期繰越収支差額	4,999,379	1,707,334	6,706,713

社団法人 江津青年会議所
 一般会計 収支予算書(案)
 2013年1月1日から2013年12月31日まで

(第1法)

(単位:円)

科目	2013年度 予算額	2012年度 決算(案)額	増減	公益 比率	公益目的	共益目的	備考
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
①特定資産運用収入							
特定資産利息収入	0	0	0				
特定資産運用収入計	0	0	0				
②入金収入							
入金収入	100,000	110,000	▲ 10,000				10000円×10人
入金収入計	100,000	110,000	▲ 10,000				
③会費収入							
正会員会費収入							
年会費収入	5,040,000	4,310,000	730,000				10000円×12ヶ月×42人
新入会員会費収入	600,000	660,000	▲ 60,000				60000円×10人
特別会員会費収入	400,000	405,000	▲ 5,000				5000円×80人
賛助会員会費収入		0	0				
会費収入計	6,040,000	5,375,000	665,000				
④事業収入							
委員会事業会計収入	90,000	100,000	▲ 10,000				対外広報誌広告料5000円×18名
登録料収入	278,500	183,000	95,500				かわくんだり1000円×100名、77総懸1500円×47名+4000円、78総懸2000円×52名
販売収入	0	0	0				
業務受託収入	40,000	120,000	▲ 80,000				江津じゃがいも1万、建設クラブ事務委託費3万
家賃・会議室料収入	0	0	0				
預り金収入	0	0	0				
雑収入	0	0	0				
事業収入計	408,500	403,000	5,500				
⑤補助金等収入							
国庫補助金収入	0	0	0				
地方公共団体補助金収入	0	0	0				
民間補助金収入	0	0	0				
補助金等交付業務受託収入	0	0	0				
国庫助成金収入	0	0	0				
地方公共団体助成金収入	1,800,000	1,023,691	776,309				江の川祭1,400,000円、かわくんだり200,000円、神楽事業200,000円
民間助成金収入	50,000	50,000	0				かわくんだりJRより50,000円
補助金等収入計	1,850,000	1,073,691	776,309				
⑥寄付金収入							
寄付金収入	833,000	378,131	454,869				卒業生2万、ICカード還元金13,000円、スマイルボックス547,576円+2013年度スマイル収入
募金収入	0	0	0				
寄付金収入計	833,000	378,131	454,869				
⑦雑収入							
受取利息収入	1,000	930	70				預金利息
その他雑収入	0	34,000	▲ 34,000				
雑収入計	1,000	34,930	▲ 33,930				
⑧他会計からの繰入金収入							
積立預金特別会計からの繰入金収入	0	0	0				
他会計からの繰入金収入計	0	0	0				
事業活動収入計	9,232,500	7,374,752	1,857,748				

科目	2013年度 予算額	2012年度 決算(案)額	増減				備考
2. 事業活動支出							
①事業費支出							
事業費支出							
総務情報委員会	487,000	120,000			123,500	363,500	HP67,000円、対広180,000円、卒240,000円、祭0円
会員拡大委員会	667,000	110,000			124,000	543,000	
会員資質向上委員会	300,000				152,000	148,000	3月例72,000円、6月事148,000円、10月例80,000円
次世代育成委員会	470,000	385,000			470,000	0	4月例60,000円、6月例10,000円、神楽400,000円、祭0円
まちづくり委員会	920,000	1,403,423			920,000	0	川505,000円、8月事385,000円、9月例30,000円
江津の祭創造委員会	1,540,000	1,435,000			1,540,000	0	江の川祭1,400,000円、他140,000円
委員会事業会計支出	0	▲ 225,695					
預り金支出	0	0			0		
事業費支出計	4,384,000	3,227,728	1,156,272		3,329,500	1,054,500	
②管理費支出							
会議費支出	460,000	0	460,000	50%	230,000	230,000	研修室、中会議室、小会議室使用料、日本・地区・ブロック会議費用(出席義務者)
給料手当支出	828,000	739,500	88,500	50%	414,000	414,000	(給与 66,000円×12ヶ月 交通費 3,000円×12ヶ月)
法定福利費支出	13,000	8,570	4,430	50%	6,500	6,500	雇用保険料
旅費交通費支出	200,000	0	200,000	0%	0	200,000	バス等交通費支援
通信・発送費支出	200,000	280,586	▲ 80,586	50%	100,000	100,000	電話、郵送料、その他通信費
消耗品支出	200,000	116,739	83,261	50%	100,000	100,000	スローガン旗、領収書、封筒、コピー用紙他(一般移行等)
リース料支出	154,980	154,980	0	50%	77,490	77,490	PC・コピーリース料12,915円×12ヶ月
修繕費支出	0	0	0	50%	0	0	
印刷製本費支出	150,000	382,162	▲ 232,162	50%	75,000	75,000	総会資料、会員名簿、コピー用紙他
光熱水料費支出	104,000	104,000	0	50%	52,000	52,000	事務局冷暖房費8,000円x6ヶ月 電気代4,000円x12ヶ月
貸借料支出	386,400	386,400	0	50%	193,200	193,200	事務局貸借費32,200円×12ヶ月
業務委託支出	360,000	116,076	243,924	50%	180,000	180,000	法人登記、一般社団法人移行費用、dropbox10,000円
保険料支出	0	0	0	0%	0	0	
租税公課支出	0	0	0	0%	0	0	
渉外費支出	170,000	144,800	25,200	0%	0	170,000	大会登録料、慶弔費、周年事業、協力金、御樽等
寄付等支出	0	118,004	▲ 118,004	100%	0	0	
雑支出	50,000	100,632	▲ 50,632	0%	0	50,000	振込手数料他
管理費支出計	3,276,380	2,652,449	623,931		1,428,190	1,848,190	
③負担金支出							
J C I 負担金支出	46,384	43,708	2,676	0%	0	46,384	892円×52名(42名+10名)
日本 J C 負担金支出	265,000	260,000	5,000	0%	0	265,000	5000円×42名+2500円×10名+30000円
地区協議会負担金支出	26,000	21,500	4,500	0%	0	26,000	500円×52人
ブロック協議会負担金支出	186,000	159,000	27,000	0%	0	186,000	3000円×52人+30000円
国際協力資金支出	94,900	89,425	5,475	0%	0	94,900	1825円×52人
日本 J C 出向者負担金支出	20,000	60,000	▲ 40,000	0%	0	20,000	20000円×1人
We Believe 購読料支出	156,000	119,500	36,500	0%	0	156,000	3000円×52人
J C 手帳購入料支出	0	0	0	0%	0	0	
バッジ・プレート購入料支出	28,000	37,300	▲ 9,300	0%	0	28,000	2800円×10人
ブロック会員大会登録料	156,000						3000円×52人
負担金支出計	978,284	790,433	187,851		0	978,284	
④他会計への繰入金支出							
積立預金特別への繰入金支出	356,000	200,000	156,000	0%	0	356,000	周年積立200,000円、プロ長積立3,000円×52人
他会計への繰入金支出計	356,000	200,000	156,000		0	356,000	
事業活動支出計	8,994,664	6,870,610	2,124,054		4,757,690	4,236,974	
事業活動収支差額	237,836	504,142	▲ 266,306		52.9%	47.1%	
科目	2013年度 予算額	2012年度 決算(案)額	増減				備考
II 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
投資活動収入計	0	0	0				
2. 投資活動支出							
②固定資産取得支出							
投資活動支出計	0	0	0				
投資活動収支差額	0	0	0				
III 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
財務活動収入計	0	0	0				
2. 財務活動支出							
財務活動支出計	0	0	0				
財務活動収支差額	0	0	0				
IV 予備費支出	0	0	0				
当期収支差額	237,836	504,142	▲ 266,306				
前期繰越収支差額	4,761,543	4,257,401	504,142				
次期繰越収支差額	4,999,379	4,761,543	237,836				

2013年度(社)江津青年会議所 委員会事業会計収支予算書総括表(案)

2013年1月1日から2013年12月31日まで

(単位:円)

委員会名	事業名(予定)	実施予定時期	事業繰入 入金	登録料 収益	寄付金 収益	補助/助成 金収益	広告料 収益	販売 収益	特別事業 繰入入金	収益計	支出計	収支 差額	
総務情報委員会	ホームページ	通年	67,000							67,000	67,000	0	
	第77回通常総会	1月25日	0							0	0	0	
	対外広報誌	4月	90,000				90,000			180,000	180,000	0	
	江の川祭	8月16日	0							0	0	0	
	第78回通常総会	8月24日	0							0	0	0	
	卒業生を送る会式典	12月7日	240,000							240,000	240,000	0	
	小計		397,000	0	0	0	90,000	0	0	487,000	487,000	0	
	会員拡大委員会	3分間スピーチ	通年	0							0	0	0
		スマイルボックス	通年	0							0	0	0
		会員拡大活動	通年	11,000							11,000	11,000	0
第77回通常総会懇親会		1月25日	141,000	74,500						215,500	215,500	0	
2月例会		2月18日	0							0	0	0	
異業種交流会		5月	124,000							124,000	124,000	0	
家族親睦会		8月	10,000							10,000	10,000	0	
江の川祭		8月16日	0							0	0	0	
第78回通常総会懇親会		8月24日	156,000	104,000						260,000	260,000	0	
新入会員セミナー		10月	4,500							4,500	4,500	0	
卒業生を送る会懇親会	12月7日	42,000							42,000	42,000	0		
小計		488,500	178,500	0	0	0	0	0	667,000	667,000	0		
会員資質向上委員会	3月公開例会	3月19日	72,000							72,000	72,000	0	
	秀でた人材育成プロジェクト	6月	148,000							148,000	148,000	0	
	10月公開例会	10月18日	80,000							80,000	80,000	0	
	小計		300,000	0	0	0	0	0	0	300,000	300,000	0	
	4月公開例会	4月18日	60,000							60,000	60,000	0	
次世代育成委員会	6月公開例会	6月18日	10,000							10,000	10,000	0	
	江の川祭	8月16日	0							0	0	0	
	神楽事業	9月	200,000			200,000				400,000	400,000	0	
	小計		270,000	0	0	200,000	0	0	0	470,000	470,000	0	
	5月公開例会	5月20日	0							0	0	0	
まちづくり委員会	かわくぐり事業	8月	155,000	100,000		250,000				505,000	505,000	0	
	まちづくり事業(夏祭り事業)	8月16日	385,000							385,000	385,000	0	
	9月公開例会	9月18日	30,000							30,000	30,000	0	
	小計		570,000	100,000	0	250,000	0	0	0	920,000	920,000	0	
	第30回江の川祭うちわデザインコンテスト	4月~8月	0			171,200				171,200	171,200	0	
江の川祭創造委員会	江津の祭レポート	7月	100,000							100,000	100,000	0	
	7月公開例会:江の川祭決起大会	7月20日	10,000							10,000	10,000	0	
	江津市音頭パレード	8月16日	0			208,900				208,900	208,900	0	
	第30回江の川祭商店街企画	8月16日	0			154,300				154,300	154,300	0	
	第30回江の川祭ステージ企画	8月16日	0			865,600				865,600	865,600	0	
	江津の祭り支援活動	10月	30,000							30,000	30,000	0	
	小計		140,000	0	0	1,400,000	0	0	0	1,540,000	1,540,000	0	
合計		2,165,500	278,500	0	1,850,000	90,000	0	0	4,384,000	4,384,000	0		

積立預金特別会計 収支予算書（案）

2013年1月1日から2013年12月31日まで

（第1法）

（単位：円）

科目	2013年度 予算額	2012年度 決算（案）額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
⑦雑収入				
受取利息収入	600	395	205	
⑧他会計からの繰入金収入				
一般会計からの繰入金収入	200,000	200,000	0	
事業活動収入計	200,600	200,395	205	
2. 事業活動支出				
④他会計への繰入金支出				
一般会計への繰入金支出	0		0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	0	0	0	
事業活動収支差額	200,600	200,395	205	
当期収支差額	200,600	200,395	205	
前期繰越収支差額	1,707,129	1,506,734	200,395	
次期繰越収支差額	1,907,729	1,707,129	200,600	

2013年度 社団法人江津青年会議所 年間公式スケジュール (案)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
【LOM】												
正副理事会	8日(火)	5日(火)	5日(火)	9日(火)	7日(火)	4日(火)	9日(火)	6日(火)	10日(火)	8日(火)	5日(火)	19日(木)
理事会	22日(火)	20日(水)	21日(木)	23日(火)	21日(火)	19日(水)	23日(火)	20日(火)	24日(火)	22日(火)	19日(火)	19日(木)
総会・例会	25日(金)	18日(月)	19日(火)	18日(木)	20日(月)	18(火)	18日(木)	24日(土)	18日(水)	18日(金)	18日(月)	7日(土)
担当委員会	第77回通常総会	2月例会	3月例会	4月例会	5月例会	6月例会	7月例会	第78回通常総会	9月例会	10月例会	11月例会	卒業式
会議・事業	総務/会員拡大	会員拡大	会員資質	次世代育成	まちづくり	次世代育成	江津の祭	総務/会員拡大	まちづくり	会員資質	新入会員/会員拡大	総務/会員拡大
		6日(水) 合同スタッフセミナー	26日(火) 拡大会議		10日(金) 興業種交流会	11日(火) 拡大会議			3日(火) 拡大会議		新旧合同理事会	
		総務	会員拡大		会員拡大	会員拡大			会員拡大			
		16日(土) OB総会				秀でた人材育成 プロジェクト	まちづくり事業	かわくわく事業 16(金)江の川祭 -リッダーシップ経営企 画と運営事業、家族靴 展	神楽事業			
						会員資質	まちづくり	全委員会	次世代育成			
【島根ブロック】												
正副会長会議	26日(土)	13日(水)未定 23日(土)江津		17日(水)未定 27日(土)松江		5日(水)未定 8日(土)安来			18日(水)未定 28日(土)浜田	30日(水)未定	9日(土)新旧未定	
会員会議所会議	第1回(祝金) 26日(土)平田	第2回 23日(土)江津		第3回 27日(土)松江		第4回 8日(土)安来			第5回 28日(土)浜田		第6回 9日(土)新旧未定	
事業		北方領土の日7日(木)	会長公式訪問例会 18日(月)島根大田 21日(木)安来	会議訪問 理事長座談会 24日	スポーツ大会 19or26日(日)島根大 田		島根ブロック大会 13日(土)益田					
		竹島の日22日(金)							浜田JG55周年 27日(土)、28日(日) 浜田			
【中国地区】												
会員会議所会議	19日(土) 京都					28(金) 津山					7日(土) 未定	
事業									地区コンファレンス 29日(土)津山			
									地区野球大会 1日(日)笠岡			
【日本JC】												
会議・事業	京都会議 17日(木)~20日(日) (京都) ※総会19日(土)		総会 10日(日) (宮城)				国際アカデミー(福山) 7日(日)~12日(金) サマーコンファレンス(横浜) 20日(土)~21日(日)			全国大会 3(木)~6(日) 奈良 ※総会5日(土)		JC世界会議 (リオ・デ・ジャネイロ) 5日(火)~10日(日)
	総務		復興フォーラム (宮城) 10日(日)				総務			総務		
その他						アジア・太平洋地域会議 (ASPAC) 13日(木)~16日(日)				第62回 全国会員大会		